京城日報
夕刊
十二月二十九日(火)
編輯兼發行人 中野 印刷人 小川
發行所 京城府本町一丁目 株式會社京城日報社

すき燒 鳥料理 水炊
本町二 喜樂館横
喜久家
電本 三八〇番

錦州の衝突迫る

白旗堡の義勇軍 我軍に總攻撃
今曉裝甲車を先頭に

【奉天卅日發至急報】嘉村旅團の新民府出動を知つた白旗堡の義勇軍兵匪は今拂曉早くも裝甲列車を先頭にして我軍に向つて總攻撃を開始した

白旗堡を占據
兵匪二千を討伏す
朝鮮嘉村旅團の奮進

【新民府卅日發至急報】昨夕新民府に到着した朝鮮嘉村旅團の中島聯隊は今朝六時騎兵隊を先發とし續いて步兵部隊及び自動車隊は進軍を起し石獅子、營防の兵匪を掃蕩し白旗堡に潛據せる約二千の兵匪を討伏せり(午前九時二十分着電)

【新民府三十日發至急報】白旗堡に突入した我軍は同地を守備してゐる耿繼周の義勇軍と激戰のうち十一時同地を占據した

盤山城頭に― 日章旗飜る
きのふ午後二時入城

【大石橋廿九日發至急報】盤山方面の偵察に向つた我○○隊が發した情報に依ると多門師團先頭部隊は午後二時盤山に入城し城頭には鮮かな日章旗が飜つてゐる

敵の猛射を浴びつゝ前進
先頭部隊河南に到着

【大石橋廿九日發至急報】盤山方面の敵情偵察をなすべく重大任務を帶びた我○○機○○隊は今朝九時○○○を出發同じく十時半飛來したが、その報告に依れば我多門○師團先發部隊は錦州鐵道線路に沿ひ蜿蜒と長蛇の列をなして前進、敵軍の猛射を浴びながらこれと交戰しつゝ掩護飛行の我○○機に日章旗を打ちふりつゝ爆聲に答へ、午後一時双臺子河南岸に到着した

李鍝公殿下御歸城

陸軍士官學校御在學中の李鍝公殿下には冬期休暇を御利用、今卅日午前八時五十分京城驛着、李王職長官、李王職高等官等のお出迎へを受けさせられて御歸城、直に昌德宮の御自邸に入らせられた、殿下には一月五日御歸京の御豫定である

我軍を邀擊
一里に亘る陣地を敷く

【盤山卅日發至急報】昨日盤山に入城した多門師團の先頭部隊は今朝九時半盤山を經て溝幇子に向け進軍を起し、盤山、溝幇子間の東南約二十キロの地點田水窩、東馬廠の線に敵は約一里に亘る陣地を敷き我軍の進軍を邀擊せんとし我軍又之に向つて討伐を開始し目下交戰中(午前十一時)

錦州軍退却說
―二十九日夜半より
支那一流の宣傳か

【天津三十日發至急報】錦州にあつた支那軍は二十九日夜半より總退却を開始した

山海關緊張す

【天津卅日發至急報】溝幇子方面支那軍は總崩れとなつたので錦州東北主力第十二旅と歩兵第十三旅は大陸軍に支へ難きを知り廿九日夜半から今朝にかけいよいよ關內總退却を開始し、北寧線で續々引揚げ中である、この爲め同方面は退却に際つた山海關方面の空氣俄然緊張す

支那紙の報道

【天津卅日發電】錦州卅日午前發支那新聞人電に依れば錦州軍は総退却を開始したと

錦州軍の戰備整ふ
某外人の歸來談

【天津廿九日發電】錦州方面視察として歸來した某外人は天津で語る 錦州には凡ゆる戰備整つて居り錦河一帶には極めて堅固な防禦陣地が築造されてゐる、更に多數の出來る塹壕も完成して居り支那軍は乾坤一擲の戰爭を豫備してゐる樣だ

事實上の宣戰
『發見次第射殺す』と
學良嚴命を發す

【天津廿九日發電】張學良は二十八日各機關及び部下に對し

一、官吏にして日本軍巡と交際する者
二、日本軍民に食糧を給する者
三、軍用地圖及び地方狀況を日本軍巡に通知又は內報する者
四、日本軍に東北軍の狀況を報ずる者
五、東北軍の軍事行動を阻害する者
六、日本軍の道案內をする者
七、東北軍の行動を撮影する者

右各條に該當する者は『發見次第射殺すべし』との嚴命を發し日本に對する事實上の宣戰布告をなしたは支那軍當局は要人の日本租界に入ることを禁止した

應援部隊
二十九日午前奉天到着

【奉天廿九日發至急報】松江○○師團、近衛輜重兵○個中隊及び自動車隊、衛生隊○○○名は本日午後五時着列車で奉天に到着した

錦州討伐後建設に入る
快擧は元旦か
土肥原特務機關長語る

【京都電報】滿洲事變報告かた上京の途についた奉天特務機關長は錦州方面緊迫のため急遽歸任することゝなり二十九日午後一時東京驛發歸奉の途についたが、途中京都に下車して意見を叩くと左の如く語つた

用事がすんだから歸るので別に重大使命をもつて行くわけではない、わが軍は目下着々準備中でこれが終れば一方的に錦州に出る譯だ、正月元旦頃は準備も完了しやう、錦州の土匪の討伐を終へた時から建設時代に入らう、この建設により東洋の平和は確立する、この際擧國一致、全國民の協力が何より必要である

錦州方面で― 一大決戰を期し
津浦線の東北軍に
學良移駐を命ず

【天津廿九日發電】津浦線駐屯の第八旅、下關駐屯の第四十旅は滿洲移駐を命ぜられ既に續々出發中であるが、之れは學良が錦州方面で我軍と一大決戰を試むべくその血祭りに山海關、秦皇島の我が守備隊を襲擊せんとの計畫の如き情報あるので我軍は警戒中

正規軍が馬賊に豹變
給料不渡りて

【間島特電】廿八日夜牛安縣に駐屯する支那正規軍約四百が武裝のまゝ兵舍を脫走馬賊團に投じたると判明、廿九日朝來間島における支那側警備機關に非常なる衝動を起してゐるが、原因は給料の不渡りらしいと

我が中島聯隊

【新民府三十日發電】午前八時三十分我が中島聯隊の騎兵部隊の先頭は早くも石獅子の敵陣地をやぶり其まゝ前進中

多門師團長
盤山南方一里の地點を進軍中

【大石橋卅日發至急報】我偵察機の齎せる情報に依れば多門師團長は師團司令部を率ゐて三十日午前十一時盤山南方一里の地點を進軍中であると、偵察機は溝幇子、錦州間に敵の列車は一時に應戰しつゝあり

京日春秋

本文の筆者は、昨夜半、京城日報特派員として新戰場に旅立つ社友佐藤、河野兩君を見送るため京城驛を訪れた。同君等の乘車は恰も嶋南部隊を輸送中の列車であつたので、幸にも同時に島軍の出發を見送る好機會を得た、また更に幸であつたのは袂を別つて以來、相見ぬこと廿餘年の久しきに及んだ戶波大佐と偶然にも握手の機會を見出したことであつた。それよりも遙に深く感激にうたれたのは、京城府民の出征部隊を見送る熱誠さをつぶさに目睹し得た一事であつた。

◇

筆者は滿洲事件突發の直後にも、出征部隊に對する東京市民の熱誠に感激したが、數日前、京城へ赴任の途次、興城及び白城城下の出征部隊に對する熱誠振りを車窓から眺めて聊か留飲を下げた。然るに、昨夜、ゆくりなくも京城府民の熱狂的見送り振りに接して、思はず、まぶたのあつくなるのを覺えた。

◇

愛國の念といふか、國家意識といふか、兎に角、日露戰役當時の國民が、殆んど例外なく持つてゐたあの張り詰めた心持ちが、近年國民の間に著しく衰へたのは蔽ひ難い事實である。しかし、衰へたりとはいへ、全く滅びたのではなく、帝都を遠ざかるに從て、今尚熾烈であり、旺盛であることに想到し、頗る意を強うした。

◇

行旅病者知に遭へるが如く、戀しき死兒に再會せるが如く、人生の沙漠に愛人を見出せるが如く、昨夜から本朝にかけて筆者の胸は異常に躍つてゐる。能ふべくんば、筆者は、京城市民の崇高に對するこの熱誠を帝都の市民に知らしめたいと思ふ。

三巨頭協議
奉天の重要打合せ

【奉天卅日發至急報】匪賊討伐の出動命令を受けた嘉村少將は滿鐵附屬地內に於て深夜まで本庄司令官と共に匪賊討伐作戰を協議しつゝあり、一方關東軍司令部では匪賊討伐に出動する嘉村旅團と匪賊を掩護する錦州政府官兵との激戰は免れずとなし、盤山方面の匪賊追擊中の多門○師團及び新民府方面に向へる嘉村旅團先發部隊の報告に基づき萬全の策を講じつゝあり、又後援部隊主力部○○○○部隊及び第○○○師團出動に關しても本庄軍司令官、森中將、宮崎中將三巨頭重要打合せを爲し刻々迫りつゝある北寧線上の衝突を前にして奉天の夜は異常な緊張裡に明けて行く

日支有力者百餘名と懇談
南大將の招待會

【奉天三十日發至急報】南大將は廿九日午後六時半大和ホテルに日支有力者百餘名を招待し滿蒙三千萬民衆の仇敵たる東北軍閥が亡び今や建設時代に入つたが、在滿日支人は協力して滿蒙開發に努め滿蒙をして眞の樂土たらしめたいと述べ支那側臧式毅之に共鳴の答辭を爲し九時過ぎ盛會裡に終つた

支那の新政府
新に內閣制を採用
各方面に多大の好感

【南京廿九日發電】中央執監委員全體會議は二十二日開會以來時に小波瀾を起したるも大體好成績で今曉閉會式を行つた、これで過去四年間の獨裁政治は終りを告げ擧國一致の政府が生れたのだが新に內閣制を採用したことは各方面に多大の好感を與へ最も懸念された財政部長の椅子は支那有數の富豪宋子文、孔祥熙兩氏が入つて代理を勤めることになつたので財政的危機も脫し得るものと見られてゐる

各部長の顏觸れ

【南京二十九日發電】新國民政府各部長は左の如く決定發表さる

外交部長陳友仁▲財政部長黃漢樑▲交通部長陳銘樞▲鐵道部長孫科▲軍政部長何應欽▲海軍部長陳紹寬▲敎育部長朱家驊▲內政部長李文範▲司法行政部長羅文幹▲實業部長陳公博▲蒙藏委員長石靑陽▲僑務委員長[illegible]

黃漢樑氏は代理部長で三十九の若い銀行家で政府が財政切り拔け策として外債によらんとする意圖明瞭である

新政府の政策
行政院長 孫科語る

【南京廿九日發電】行政院長孫科は本日記者に對し新政府の外交財政方針を語つた 新政府の政策は今次全體會議で決定した處で、實行するに當り最も緊急事は被占領地の回復にあり、然しこれには必ずしも武力を用ふるを要せず

奈良中佐着任

參謀本部付奈良中佐は今回二十師團付參謀に轉補せらるゝこととなり、今三十日午前六時五十二分龍山驛着、直ちに軍司令部に赴き打合せの後同九時五分發列車にて奉天に急行した

生駒管理局長
使命を終へ歸京

拓務省管理局長生駒高常氏は今月上旬京城通過、汝矣島より旅客機にて大連に出で、滿洲、間島地方を視察、昨廿九日午後六時二十五分京元線にて入城、朝鮮ホテルに投宿、今卅日午前十時京城驛發列車にて途中水原まで見送る池田警務局長と共に歸京の途に就いた

氏の今回の視察要件の中には在滿朝鮮人の生活狀況を詳細に調査することをも含まれ、將來の朝鮮人救濟の根本政策樹立に資すること頗る大なりと傳へらる入城中は總督始め要路の大官と會見意見の交換をなした。尙敦化より間島の險路を突破したる部官は氏を以て嚆矢とする由である

大ゆれの京城府
近く後任決定

十二月に入つてから行政整理やらなにやらで京城府では係長以上の幹部級が六名も勇退、又は轉退して近來にない大ゆれを見せた、先づ土木課長として京城府には多年おなじみだつた岩城大太郎氏が勇退し、內務課長の前田茂助氏は濟州府尹に、文書係長の小野信吉氏は仁川府に榮轉、勸業係長の中辻金助氏と、この間戶籍係長から東部公益質屋主任に轉じた柳喜雄氏とは郡守に名譽昇進の上勇退、龍山出張所長梅田宗二郎氏も依願免本官となつた、內務課長の後任は馬山府尹の門脇默一氏と決定してをり、正月十日頃迄には他の後任者も決定發任の豫定である

李鍵公附武官

【東京電報】廿九日附辭令を以て左の如く發表さる
陸軍大學校馬術教官 騎兵大尉 森岡 正
補王公族附武官
李鍵公附を仰付けらる

本社辭令

社長秘書兼庶務部長 司書 久松 前平
理事ニ任ズ
大阪支局長 司書 兒島 吉治
理事ニ任ジ支配人ヲ命ズ

支配人 理事 中野 繁夫
社長秘書兼庶務部長 理事 久松 前平

追て 久松前平氏は東京の時事新報社京城特派員として任命されてゐた社の都合により解囑

人

◇戶澤又次郎氏(前朝鮮總督府林業試驗場長)退任挨拶のため廿九日午後本社來訪
◇竹下茂太郎氏(步兵第二十六聯隊附步兵中佐)廿九日夕入城龍山官舍へ▲福岡信包氏(近衛步兵第三聯隊付步兵少佐)同上▲原加藤勇氏(步兵第二聯隊付步兵少佐)同上
◇竹井二郎氏(朝鮮總督府事務官)卅日朝十時京城驛發視察を經て奉天へ
◇伊藤賞三氏(前平壤府尹)卅日朝出張所長、右同列車で郷里福岡へ
◇有馬やす子氏(細川氏夫人)同上同府へ

•神前奉天修養會• 希望社京城社會聯盟では正月三日午前十時から朝鮮神宮社頭に於て神前奉天修養會を行ふ、尙同日午後一時から午後三時まで南大門通共榮社ビルに於て綜合相互修養會を行ふと

あすの天氣(31)

高氣壓は北支那日本海を經て本邦に擴がつて北勢はをとろへ南鮮は曇り其他は天氣が良い昨朝より三度內外下つた明日も大體天氣が良い

朝鮮	晴一時曇
昨日最低零下	三三・四
今朝	零下 一三・六

本紙を以つて年內の終刊とします

本日夕刊八頁

本紙新年號の大讀物

―新年より大に―

國際外交
一九三二年の國際展望 全權大使 本多熊太郎
來るべき國際軍縮會議 外務省條約局第一課長 佐藤庄四郎

滿蒙問題
日本の生命線滿蒙問題 前滿鐵理事 法學博士 齋藤良衛
間島及び滿洲 間島の大權威 法學博士 篠田治策
朝鮮維新と滿洲維新 朝鮮商業銀行頭取 賀田直治
―其の他權威者多數―

金輸再禁と我財界の前途
對說 現大藏大臣 高橋是清
前大藏大臣 井上準之助
鮮滿財界の前途 朝鮮銀行總裁 加藤敬三郎
―其の他內鮮關係名士―

特別寄稿
貴族院議員 元國民新聞社長 蘇峯 德富猪一郎

隨筆俳句
貴族院議員 前朝鮮政務總監 伯爵 兒玉秀雄
貴族院議員 男爵 福原俊丸
元京城日報社長 伯爵 副島道正
朝鮮中央協會理事 元京城日報社長 河部充家
東京日日新聞編輯顧問 前京城日報社長 松岡正男
隨筆 酒と煙草 德田秋聲
隨筆 夜泣石 田中貢太郎
大衆小說 延壽秘藥 三上於菟吉
童話 馬車と子供たち 小川未明
―短歌 俳句―
河東碧梧桐 尾上柴舟 臼田亞浪
前田夕暮 若山喜志子 中河幹子
青木月斗

その他
猿に就いて 理學博士 石川千代松
モダン現象の向日性 新居格
昭和七年の劇壇 市川三四郎

―面目を一新す―

壹萬圓の財産が容易に
即座にできる
にすれば歲末御多忙の際とは云へ御一考も二考もあつて然る可しと存じますが：あなたの爲め、御家族の爲めにも：明日と云はず今直ぐに大同生命の養老保險を御利用下さい
年配當附 滿期割增金附 特別養老
保險料年拂百圓に付本年度正味掛金…(配當率四分五厘)
三回目迄の方………一〇〇、〇〇
四回目の方………九五、五〇
五回目の方………九一、〇〇
六回目の方………八六、五〇
七回目の方………八二、〇〇
滿期確定割增金……保險金壹萬圓に付壹千圓以上二千圓迄

堅實第一 加入者本位
大同生命
本社 大阪土佐堀 案內書贈呈

喜ばれる奉仕施設
利益配當付 普通養老 本年度配當準備金七百四十萬圓……
大同病院…各科博士擔任診察無料、治療實費程度…地方御加入者のためには各地無料診察所二百ヶ所
親善課…各種保險、諸物品購入取次、其他信用身元調査等日常百般の御相談日々十數件の御下命に預つてゐます……

社員招聘
大阪土佐堀 神戶榮町 廣島紙屋町 名古屋本町 下關南部町 仙臺國分町 京城南大門通 平壤大和町 ・ 京都烏丸通 名古屋廣小路 京城本町 橫濱本町 宇都宮大工町 金澤南町 千葉千葉寺 秋田旭川 札幌南一條西 新潟本町 大連敷島町
大同生命保險株式會社

昂奮と感激を満載し勇士戰地に向ふ
依田旅團長を一番槍に羅南部隊京城を通過

あわたゞしく暮れ行く師走も大晦の、しかも朔風吹きすさぶ二十九日の夜、わが依田混成旅團の北鮮健兒は意氣揚々たる征途につき京城を通過北上した、これより先一番槍に午後六時十七分龍山驛着列車で乘込んだ依田旅團長は林軍司令官を訪問して固き決意を述べて袂別の挨拶をなし司令官邸の晩餐會に名残りを惜み、午前零時二十一分京城驛發第四回目の司令部列車で勇躍征途に上つたが午後六時四十八分龍山着列車を先頭に、六回にわたる臨時軍用列車は一時間或ひは二時間の間隔で三十日午前二時十八分京城發を殿として、いづれの列車も昂奮と感激を満載して淡い絃月の光を浴びながら勇壯に北行したのであつたその間龍山京城兩驛頭は人と旗の波うつところ無慮の群衆は萬歳と歓呼の渦を卷き『確り頼む』『確り頼みますぞ』とても、すべて烏合の衆なるぞ』と與ふ重歌も勇壯に迎送の熱意は次から次にほどばしる、車中の勇士連は長途の勞れをさへ忘れて、これが盛んな迎送にたゞ昂奮と深い感激に醉ひ萬歳には萬歳を、歓呼には歓呼をもつて應へる、かくて感激の怒濤の中に眉宇には悲壯なる決意をさへみせて風雲急迫せる滿洲指して勇途を急ぐのであつた

本社は今回も特派記者及河野寫眞班長を特派し、錦州方面その他の状況を巨細に報道せしむること既報の通りであるが、兩記者は今卅日午前〇時廿一分京城驛通過の第四次軍用列車に搭乘し、旅團司令部と共に我が社員の盛んなる見送り裡に出發した、折柄依田部隊の輸送列車にホームを埋むる大群衆は我が社の筆の勇士の出陣をも併せて大に見送つた

歓迎送裡に平壤通過

【平壤特電】第〇〇師團依田混成旅團は三十日午前二時二十二分平壤驛着同四時發臨時列車で出發したのを初め同十時二十分までに六回の臨時列車で通過北行〇〇へ向ひ驛頭は官民多數の送迎で大賑はひであつた

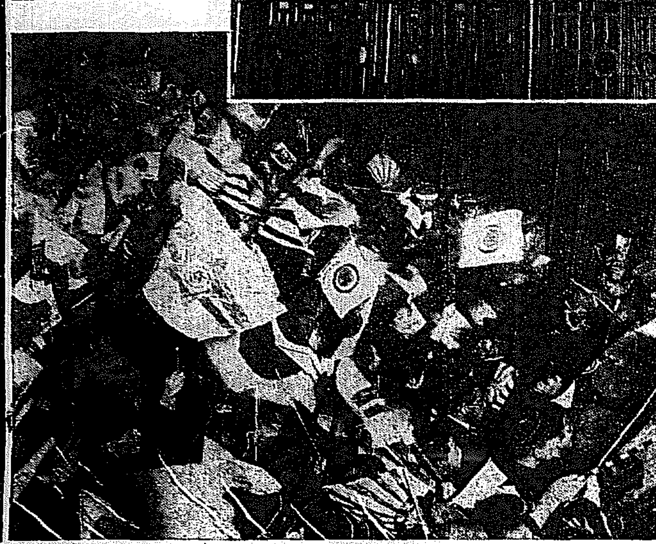
固い決意の下に實踐活動する
依田混成旅團長談

思ひがけない出動命令に大きな使命を双肩に背負つて勇む北鮮健兒を率いて征途を急ぐ依田混成旅團長は車中出迎へた記者に欣然として次のやうな決意を語つた

まだ行先はハッキリしないが多分一先づ奉天に落ちついた上で行動することにならう、自分達は國民の輿論に絶對の支持をされてたつ以上飽くまでその熱誠なる國民を後楯として盡忠報國の固い信念のもとに奮鬪活動する覺悟である、幸ひ兵の士氣は旺盛である、風紀地をはじめ沿道官民、在留民ともいふべき熱烈な歓送をうけて大いに鼓舞されてゐるから大いに働いて國民の期待に副ふ所存である、自分は滿洲問題の重大を認識すると同時に間島問題も相當重大なものとみてゐる滿洲問題が解決すれば必然的に間島も救はれるとみる向もあるやうだが自分の考へではそれは見當違ひではないかと思ふこの際政治的問題には觸れたくないが滿洲問題はそれとして間島問題も同時に一擧的解決が望ましく、間島の同胞をあの苛酷な搾取の犠牲から救ひ安住の地を築き上げることに一般的努力を切望してやまない云々

筆の勇士にも盛んな歓送
本社特派記者出發

今回の錦州方面の形勢は特に重大性を帶ぶる問題であり殊に新に混成旅團の出動もあり我が朝鮮部隊の活躍も期待される折柄、我



いよく奉天に向つた羅南部隊
（上）展望車に立つ依田旅團長（下）熱狂的に見送る群衆（京城驛前にて）

大石橋の我飛行機發火して機體全燒
搭乘者二名重輕傷

【大石橋廿九日發電】盤山方面の地上部隊を掩護するため午後二時五十分〇〇飛行場を出發した石川〇〇機（副島特務曹長操縱、關次曹長同乘）は飛行場を一周現場に向はんとしたとき發動機に故障を生じたので引返し三時飛行場に着陸せんとした際突然發火し見る見る中に機體を全燒、關次曹長及び副島特務曹長は着陸後直ちに飛行機より飛び降りたが關次曹長は頭部に重傷、副島特務曹長は輕傷を受け滿鐵病院に收容手當中

傷ついた軍用鳩見事任務を果す
翼に敵彈をうけながら十里を飛び瀕死の重態

【奉天三十日發電】左の翼に敵彈を受けつゝも十里の航程を突破して見事後方連絡の任務を遂行した健氣な軍用鳩の働きにより昨日大洼方面に進撃した我〇〇聯〇〇聯隊と後方部隊との連絡が完全にとれ我軍擧を感激せしめてゐる、この種軍用鳩は大石橋班の二羽で昨日午後大洼南方で我〇〇聯隊と敵の大部隊と激戰開始されるや『敵勢強し』の重要任務を帶びて大洼の上空に舞ひ上つた刹那一羽は哀れにも敵彈を受け鷲の曠野に落下、名譽の戰死を遂げたが一羽は敵彈のため胃腸に傷を受けた左翼を懸命に働かせて飛び交ふ彈雨を潜つて吹き荒ぶ寒風と闘ひつゝ午後五時辛うじて營口の移動鳩班に辿りつき任務を果してガックリ瀕死の重態となつたもので我鳩班の懇ろな看護を受けてゐる

歌御會始の儀

【東京電話】新春宮中で行はせらるゝ御恒例の歌御會始の儀は天皇、皇后兩陛下御服喪中の爲御取止め遊ばされたので例年より多少早めらの一月十八日頃に行はせらるゝこととなつたが兼題は追つて仰出される筈

愛國美談
應接に遑なき

朝鮮軍司令部内愛國部を訪ひ愛國的義擧を申出づるもの甚だ多く係員は應接に遑なき多忙ぶり其内一二を紹介すれば二十九日午後一時過府内大和町一ノ四五松木つるゝなる一老女は孫に手を引かれて軍司令部に新設された愛國部を訪ひ皇軍の武運長久及傷病兵の平癒を祈るため所々方々を馳せ廻つて彈丸除け千人結十枚を作り凡毎夜御詠歌を流し各家の喜捨による淨財拾圓となつたから是が傳達方を乞ふた、兒玉部長は其の義誠に感動し千人結は恰も同夜通過の依田旅團に寄贈し淨財は衛戍病院入院中の傷病兵慰問に充てる樣夫々手續を採つた又同日午後二時頃京城府外線作業員諸代が同部を訪ひ心からなる傷病兵慰問の手紙に一同五十餘名が忘年會を節した代りの金子四十圓を添へて提出して係員を大に感激させた

今夕通過の殘余部隊

依田旅團隷下の殘余部隊〇〇名は三十日午後六時十七分龍山着列車で通過北行するはずであるが、同列車の龍山京城兩驛着發時刻は左の通り

◇龍山　午後六時十七分着　同六時十九分發
◇京城　午後六時二十五分着　同七時二十分發

龍山聯隊も突如出征
けさ〇〇名北行

龍山歩兵〇〇聯隊〇〇名は突如出動命令に接し、今卅日午前九時五分京城驛發普通列車にて盛んなる見送りを受け元氣よく奉天に向け直行した

朝鮮人青年が出征を懇願
天恩に報ひたいと手紙を總督に寄す

廣大無邊の天恩に感激する一朝鮮青年が皇恩の萬が一に報ひ奉らんことを切望して二十八日朝鮮總督にあて次の如き意味の書翰を寄せた美談がある。心願者は趙昌星君で本年取つて二十二歳の青年。手紙の趣旨は國家のため同胞のために滿洲の戰地に赴きたいと言ふのである

私は朝鮮の子供に生れ天皇陛下の國民として廣大なる御恩に浴して居ります、そして血のたぎる二十二の歳を迎へました、目下死線にさ迷つて居る在滿同胞のため又は國家の爲に陛下の御恩を萬分の一でも報じたいと存じまして滿洲の戰地へ赴きたいのです、戰地において決心して命、直ちに進みたいと決心して居ります、どうぞよろしく御願ひ致します

原籍水原郡水原面山樓里三一八番地

現住所永登浦驛前大串町八方　心願者　趙昌星

朝鮮總督閣下

驛を根城のスリ捕る
出征部隊の混雜を利用

廿九日午後七時から同十時迄、滿洲に赴く軍隊の見送りで京城驛第二番ホームは雜沓をきはめたが一名の鮮人はその人込に乘じてスリを働かんとした所を警戒中の本町署木内、金の兩刑事に逮捕された、曲者は住所不定、前科二犯李京鎮（二〇）といひ滿洲事變以來、京城驛を唯一の根城として盛んにスリを働いたもので自白した被害金額だけでも百數十圓にのぼる由

學生義勇軍震へ上つて逃亡
寒さと形勢險惡化に約一千名逃げ出す

【北平廿九日發電】平津その他より錦州に赴いた學生義勇軍は二千五百名に上つてゐるが昨今の酷寒と形勢險惡化に震へ上り約一千名は逃亡した

昨夜出發した本社特派員（向つて右より五人目河野寫眞班長、中尾編輯局長、佐藤記者）

卒業生に化け一仕事企む
寫眞屋と共謀して偽造アルバムを作る

學校を追ひ出された不良學生が寫眞館と謀つて卒業生の寫眞を偽造し一仕事をやらうとした新手の犯罪が發覺された、府内南大門通某専門學校では今年の卒業生の記念寫眞を府内某寫眞館で撮影したが、數日前同校でその寫眞の撮影をやつたところ、意外にも寫眞の中には卒業しない者の寫眞が堂々とのつてゐるのを發見し驚いてこの點を府署に屆出た、にせ卒業生の寫眞をつくつたのは裏面に如何なる惡計が伏在してゐるか、目下詳細は判明せぬが、當のにせ卒業生になつた張本人は數年前同校四年生のころ同期の小學校を横領し更に看護婦にけしからぬ振舞をした廉から退學處分をうけた不良學生である。本町署高等係でもこの事實を探知し三日前から内偵を進めてみたが、學校ですでに關係者に屆け出、また嫌疑者の全部が學校內に居住をおいてゐる關係上事件は一切學校當局にまかせてしまつた、問題の金光堂寫眞館は平常から女學生を中心に種々の非難があつた寫眞館だけに今後警察では嚴重な處分をする方針であると

喪中に付年賀の御挨拶缺禮仕候

昭和六年十二月

中野繁夫

ジャンく鳴り出した景氣のよい三味線
皮肉の木堂さんから好況が生れガゼン賑はひ出した花柳界

景氣は花柳界から……、財界の不況とカフエーの進出で、『酒にニッポン』をしのばず花柳界が二三年前から全くさびれ、その凋落は通人から嘆かれて居た、殊に本年一月より十一月迄は本券所屬の街娼は一日の花代が平均二千二百本内外で二千五百本を突破することはなく、さすがの藝者さんも化粧代にすら窮するといふ破目になり暗澹たるものがあつた、從つて一日五十本をあげたなどの二年前の記録はたゞ一瞬のはかなき夢にもひとしかつた、しかも本月に入りて滿洲事變、財政整理等で忘年會シーズンのこの書入れ時もまたマイナスではないかと思はれ十二月五日迄は各料亭も一件の忘年會の申込みなく手も足も出ぬ程行詰まつたが、若槻内閣倒れ、犬養さんのいはゆる積極的内閣が生れるやたちところに忘年會の申込みあり、十五日から廿日迄の五日間は本町新町の兩券番とも繰切れといふ有樣でその後は一日三千二、三百本は賣れるといふ景氣を持直したしかしながら昨年との比較は約三割減であるが、これも十、十一月の約五割減に比すればズット成績がよく、久しぶりに花街の三味線も景氣のよい音を出してゐるといふものだ

そこで心配になるのがお元旦の御天氣─測候所では今の氣壓の配置が相當不安定だから何時如何にかはるか一寸不明だが、まづ天氣は上等で温かさは、けふの温かさをチョイとけずつた程、すこしは冷へるが冬のことであり、まづ上々の部といふ處でしやうとある

この分では暖いお正月
但し天候急變あるか

正月元旦の御天氣の豫報─先日降雨であとはメッキリ寒さが襲來するだらうと思はれたが、この的もはずれて豫想外にも温かい、

轢死

二十七日午後七時半第八二九列車が漢江里往十里間を驀進中朝鮮人男一名轢死した、身許その他一切不明で死體は警察に引渡された

匪賊を討伐せよ錦州軍を追っ拂へ
奉天全省にわたり新興民衆が正月一日を期し大デモ

【奉天三十日發電】『東三省を亂擾する匪賊を討伐せよ』『匪賊を使嗾煽動する錦州軍閥を驅逐せよ』の目標の下に奉天諸民衆はこの正月一日を期し奉天城は勿論奉天省各縣に一大デモンストレーションを起すこととなつた、主催者は奉天省長臧式毅、奉天市長趙欣伯で熱河をも初め各民衆團體三萬以上の民衆參加すべく當日は赤、黄、黒の新國旗自由國々旗を打ち振りゝ奉天初め全省に亘り匪賊討伐、錦州軍閥驅逐の氣勢を擧ぐる計畫である

自殺法珍
燒酒と精酒に白粉を混ぜて呑む
人妻の厭世自殺　功を奏せず助かる

二十九日午前十一時五十分頃府内貫鐵洞五四李相珊の妻吳福姫は自宅オンドル内にて白粉にアルコールと燒酒を混ぜて嚥み苦悶中を家人が發見し同洞五九安醫師を招き應急手當てを加へたので生命に別狀ない原因は家庭の不和からである

御年玉にとりこの
森永ベルベット

旅客機の初飛行

日本空輸會社の汝矣島飛行場では新年初遊覽飛行を一月一日と一月三日の兩日擧行することになつた

傷病兵に植木鉢を贈る
天香園の美擧

京城料理天香園の女主人公は、さきに龍山へ凱還した傷病兵慰問のため各人宛に眞心をこめた植木鉢を贈つたが、今度更に金五十圓也を本社を通じて滿洲派遣軍に對して獻金方を依頼して來た（寫眞は天香園の女主人公）

喪中に付年末年始缺禮仕候
仁川挑山町
山野井煉瓦工場

喪中に付き年末年始の禮を缺く
大邱府元町
伊藤吉三郎

喪中に附年末年始缺禮仕候
土井誠一

旅行中に付年末年始缺禮仕候
山田三良

喪中に付き年末年始缺禮仕候
サロン・アルプス
谷垣義彦
京城本町二丁目
電話本局一二四番

喪中に付き年末年始缺禮仕候
武者錬三

喪中に付年末年始缺禮仕候
東京市外瀧の川町
岡崎量外

喪中に付き年賀缺禮仕候
京城府岡崎町三四番地
久松前平

京日案内
京城名物栗饅頭
電話
重詰
電本二一八六　佐月堂

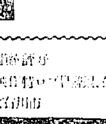
御正月の御寫眞は
是非本町一丁目の
ワタナベへ
電本二一七八番へ

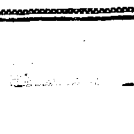
○新春特別大興行○
松竹合名社巡業部
御目見得狂言
一、喜劇　當り年　二場
二、舊喜劇　出世の猪名川　二場
三、社會劇　腹違ひ　二場
四、喜劇　戀の花園　一場
新顔は二日替り
中島寶蝶一行
一月一日より毎夕六時開演
朝日座
謹賀新年
一月元旦　朝日座々主　大石貞七
電話本局二三六八番

謹賀新年
嵐寛寿郎大猛演映画
鞍馬天狗
解結篇
中央館
大都會の水
殺陣の巻
新春封切の三大巨大篇

謹賀新年
大正館
新春封切
まぼろし峠

謹賀新年
舊年中は格別の御引立を蒙り厚く御禮申上ます尚本年も不相變御愛顧御援助の程伏して御願申上げます
日活直營
喜樂館
電話本局五九七・一八六五番
新春劈頭封切上映
侠艶討選手
女を打つ勿れ
白い姉
心の血煙





ラヂオ

JODK＝卅一日（木曜日）

正午 時報 ニュース
午後〇時三〇分 氣象概況 各地天氣概況 仁川觀測所發表
同〇時四〇分 落語 年の瀬 柳亭 燕路
同一時三〇分 御題曉雞聲謠と箏曲
同一時三〇分 短歌 一、短歌二、愛の歌三、短歌四 李 玉 花
同四時四五分 今晩のプログラム發表
同六時〇分 子供の時間 忘年會の催
同六時三〇分 獨唱 金 仙 京
一、月夜の水邊二、愛の喜三、霜の夜
同七時〇分 ニュース 翌日のプログラム發表
一、我が母よ二、春の乙女三、愛の唄四、放浪の役者 ピアノトリオ伴奏 中カナリア
同七時三〇分 忘年演藝會

落語と音曲の夕

落語 一席 三升家小勝
落語 一目あがり 春風亭柳枝
落語 粉曳き 桂 文 治

忘年演藝會出演の人々

（上より）小勝、柳枝、文治、今輔、柳之助、三村定一（下）右より糸葉、小雅、二三吉

落語 へっつい泥棒 古今亭今輔
淸元 三千歲 ... 立花家橘之助
唄 二三吉
三味線 小 雅
伴奏 洋樂囃子
新小唄 はこり ... 同 糸 葉
（イ）唐人お吉（ロ）頃眉こちやれ（古流行歌）（ハ）悲戀高尾の唄（ニ）トコ張さん（ホ）浪花小唄
ジャズ小唄 三村 定一
伴奏 日蓄アンサンブル
イ、パリ見物ロ、日本橋からハ朗らかな水兵さんニ、モンパパ
同九時三五分 氣象概況 各地天氣概況 時報 仁川觀測所發表
同十一時五五分 除夜の鐘及參詣狀況（N）（信州善光寺より中繼）

落語

午後〇時四〇分

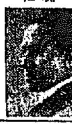
年の瀬 柳亭 燕路

益々押詰つて參りまして御同樣御忙しい事で御座います尤も皆樣のお忙しいのは借金なさいます方で私の忙しいのは借金取を逃れるに忙しい方で、大變な相違で御座います、扨此度に大工の八さん私同樣稼ぎ手の素の心掛が惡かつたとみえまして大晦日になりますと借金取連中にワンサと攻められて手も足も出なくなり、わけて家主の處はウント溜つてしまつて言譯も出來ず困り果てゝゐる、女房の智惠で家主が狂歌に凝つてゐるのを幸ひ家主の家に出向ひて狂歌の話をして仕事が出來ずに遂お拂ひが出來なくなつたと云へと言はれ、八さん仕方なく大枚十錢也を女房に與へて此金で年の餅を買へといひ付けて出掛る、家主に逢つて狂歌の話をすれば家主スッカリ夢中になつて悅び借金の催促も忘れてしまひ結局上の句と下の句とのつけ合ひをやることになる、家主の句に『年の瀨を越ゆて拜みし初日の出』と云へば八さん『餅は十錢買つて喰ふなとやる、家主『なんだいそれは、それじやあ上にも下にもつかないよと云へば八さん此處をとばかり『搗かないから十錢買ひにやりました』

一日（金）

午前六時五〇分 曉鐘聲（B）
同七時〇分 歲旦國威宣揚祈願祭狀況（東京九段靖國神社拜殿より中繼）
式次第一、宮司以下着座一、修祓（着取）一、獻饌（奏樂）一、祝詞一、玉串拜禮一、撤饌（奏樂）一、國の御一、君ヶ代
祭主靖國神社宮司 賀茂 百樹
他神職十數名
同八時〇分 うぐひすの明聲（B）
同八時三〇分 挨拶年頭之辭
京城放送局理事長 保阪 久松
同九時三〇分 素謠唱歌（A）
一、年の始一、君ヶ代
女子放送合唱團
同十時〇分
謠曲（A）
一、翁觀世
一、鶴亀
觀世 左近
新作 觀世
同十時三〇分 二曲合奏 若菜
一、羽衣
尺八 古木 竹陽
箏 湊 毅
三曲合奏 吾妻獅子
京城三曲協會員
尺八 兵頭 蘇晃
箏 加城 茂子
三絃 太田 興志
同十一時〇分 長唄
一、勸進帳鶴龜 杵屋美乃志作曲
唄 杵屋美乃志
同 同 もち
同 吉村 郎江
三味線 杵屋佐多枝
同 同 佐代枝
小鼓 松田 豊子
大鼓 増田 佳子
太鼓 川原 久子
同十一時五十九分 時報 ニュース
午後〇時三〇分 氣象概況 各地天氣概況 仁川觀測所發表
同〇時四〇分 箏曲・長唄 松竹梅（A）
鶴千歲三番
一、翁 唄 町田 杉勢
同 秋野 杉凉
同 久米 稻子
三絃 池田 杉野
同 吉澤富左枝
長唄 芳村伊四郎
同 芳村辰三郎
同 松島庄三郎
三味線 杵屋 和吉
同 杵屋勝之助
同 杵屋 和八
笛 望月太左衞門
小鼓 堅田喜三郎
同 堅田喜之助
鼓 望月太意次郎
大鼓 堅田久雄
太鼓 堅田新十郎
（寫眞は町田杉勢、芳村伊四郎杵屋和吉）

同一時三〇分 萬歲
北川 榮太郎
北川 正夫
山口 榮太郎
早川 勘太郎
淺井 喜次
平松 庄次郎
一、お祝儀萬歲 二、三曲萬歲
岡田琵琶平次
比叡山頭の珠數の由來（比叡山護摩道の場）
同一時五〇分 連續講談（鮮語）
朝鮮の罪 第一席 尹 白 南
同五時四五分 今晩のプログラム發表
同六時〇分 お話（A）
文部大臣 鳩山 一郎
同六時三〇分 歌曲
羽調初戲（男唱）羽調遊人（女唱）言樂（男唱）羽樂（女唱）編樂（男唱）編（女唱）
男唱 河 圭 一
女唱 徐 珊 瑚 珠
玄琴 趙 彝 淳
揚琴 金 相 淳
大笒 金 永 根
長鼓 金 一 宇



同七時〇分 ニュース
同七時三〇分 常磐津（A）乘合船惠方萬歲
淨瑠璃 常磐津文字太夫
同 常磐津政太夫
同 常磐津歐男太夫
三味線 常磐津三蔵
同 常磐津市松
上調子 常
（寫眞は文字太夫、三蔵）
同八時〇分 放送劇壽劇（A）
吉例 曾我 鎌打八幡祭
近江小藤太成家 松本幸四郎
八幡三郎行氏 坂東彦三郎
近江奴松平 松本錦四郎
八幡奴竹内 坂東 彌藏
長唄囃子連中
杵屋六左衞門社中
田中傳左衞門社中
外大勢
同八時三五分 放送舞踊（B）
黑手組曲輪達引 新倉屋伊之助
の場三浦屋格子先の場
黑手組助六 守田 勘彌
三浦屋揚卷 坂東 彥蔵
鳥居新左衞門 嵐 橘三郎
外大勢
鳴物囃子連中 三蔵會社中
同九時三五分 氣象概況 各地天氣概況時報 仁川觀測所發表

御挨拶

午前八時三〇分

年頭ノ辭

理事長 保阪 久松

昭和七年元旦に際しまして謹んで新年の御慶びを申上げます所感の一端述べて年頭の辭と致します本年は當京城放送局開局五周年に相當致します、回顧致しますれば創立以來困難なる經營の下に種々曲折を經ましたが各位の絕對なる御聲援に依りまして遂年衙を以て向上致し、昨、昨年の兩年は商途多大の曙光を認めまして技術方面に放送關係に共に大いに改善進歩を見るに至り爾一段の努力をもつて飛躍的發展を計り多年の要望たる內鮮兩語の弊を改め得る二重放送計畫、一其放送による電力弱少の嘆を除く十基放送計畫を樹て各方面の賛助を得りしまして本年の機運を醸放し本年を迎へまして是非これが實現を計り度ひと切望致して居る次第であります如きは全年機關の滅を死かれず着實周到たる計畫を以て邁進致す積りでありますが各位の絕大なる御援助に依つて初めて其の成果を收めるものと信じてゐます
年頭に際しまして將來の御愛顧を深く感謝致すと共にこの一大計畫を有する本年におきましては格別の御指導と御援助を懇願致す次第であります
甚だ簡單乍ら述べて年頭の御挨拶と致します

二曲合奏

午前一〇時三〇分

（イ）若菜
尺八 古木 竹陽
箏 湊 毅

一、ゆかりよしある初音の若菜の上を見つるよりいとゞ若かの袖の露なたに袖きさまさる底ひか
二、うつゝなや夢路、夜半の枕に吹きよう、深山嵐に漂ひめて、世に出す鶴の若
三、いざさらば、宮人に行きて語らん櫻花、木の間の景色ことなるを、風より先に見せばやれに聞けて、また見ぬ花のかほげせを、見るより譲る、大手四、かくれ家深き奥山の松の葉に見せし花の色に、迷ふ心は聞なく鏡、立ちわづらうぞ物うき五、實悟すぐるおりから、ほのかに聞きし山の、井の淺きながら六、いつしか汲みそめて、侮しとさりとては、縁へ契をたのまむ

三曲合奏

（ロ）吾妻獅子
兵頭 蘇晃
加城 茂子
太田 興志
兵頭氏は京城三曲協會理事、太田氏は京城三曲界の元老、加城さんは女流中自他共に許す所、加城さんはこの太田師の秘蔵弟子

長唄

午前十一時〇分

（イ）勅題曉鷄聲
（ロ）猿
杵屋美乃志他

月出度いこの曲の合奏でびつたり意氣の合つた所が聞かれます
勅題曉鷄聲歌詞
一、明星さへ夢からさめて匂ひ飾く東雲や鷄がうたひまず街の中で春の始め君ヶ代を ホイサ君ヶ代を
二、御山氣高や花嫁姿、衛子若松は雲の錦、色もかはらぬ打、掛模樣昇る初日がイサ紅をさすホイサ紅をさす
三、二人そろふて若水汲めば、音戀しい初鷄、鷄がうたひます街の中で、千代に八千代の君ヶ代を ホイサ君ヶ代を

二日（土）

午前一一時五九分 時報 ニュース
午後零時三〇分 氣象概況 各地天氣概況 仁川觀測所發表
同零時四〇分 連續講談（鮮語）
朝鮮の罪 第二席 尹 白 南
同一時一〇分 新日本音樂（A）
一、陸前合奏 陸前第一行進曲 久本玄智作曲
陸前一部 岡野 玲章
同 須田 幸章
陸前二部 安部 兆章
同 林田 英章
二、三絃四重奏 かげろふ 町田嘉章作曲
三絃一番 倫明 節子
同二番 倫明 園子
同三番 倫明 定子
同四番 倫明 花子
三、新箏曲（イ）淸水樂 宮城道雄作曲
尺八 安部 香山
箏 平井佐知子
（ロ）春の訪れ
陸前 岡野 玲章
箏 倫明 久子
四、管絃合奏 春曉夢 田辺尚雄作曲
町田嘉章作曲 國珊寺
第一ヴァイオリン 杉浦 道入
第二ヴァイオリン 假屋 清子
チエロ 假屋 恩祥
バス 見砂 直照
陸前 岡野 玲章
同 須田 幸章
尺八 安部 香山
同 原 稼山
箏 倫明 久子
高音箏 平井佐知子
低音箏 倫明與賀子
十七絃 佐々木 誠一
打物 [illegible]
同二時〇分 人形淨瑠璃（文樂座より中繼）花競四季壽
淨瑠璃 竹本 綾太夫
同 豐竹和泉太夫
同 竹本相生太夫
同 竹本 錦太夫
同 竹本南部太夫
同 竹本 文太夫
同 竹本靜路太夫
三味線 鶴澤 友次郎
同 豐澤新左衛門
同 豐澤 團助
同 野澤 勝平
同 鶴澤綱右衛門
同 鶴澤 友作
同 鶴澤 吉左
同五時四五分 今晩のプログラム發表
同六時〇分 童話劇（B）寶船
神戶お伽座
大阪影繪座
同六時三〇分 連續口演
沈淸傳（一）嗣堂下宮の場
名唱 李 東 伯
鼓手 淸 龍 九
同七時〇分 ニュース 明日のプログラム發表
同七時三〇分 落語（A）御慶
柳家小さん
同八時〇分 長唄（A）
外記節 石橋
唄 芳村伊十郎
同 芳村伊四郎
同 芳村伊十三郎
三味線 杵屋榮藏
同 杵屋 榮二
上調子 杵屋 勝郎
笛 住田 多
小鼓 望月 朴清
大鼓 望月 太七
太鼓 福原鶴三郎
（寫眞は芳村伊十郎、杵屋榮藏）

同八時三〇分 ピアノ獨奏（A）
小倉 末子
一、前奏曲及遁走曲（イ短調）バッハ作曲リスト編曲二、練習曲變ト長調作品二五第九ショパン作曲三、夜想曲 八短調 作品四八第一 ショパン作曲 四海のざわめき アルベニス作曲五、交響詩フエートン サンサーンス作曲

同九時〇分 かるか吟（A）
山田 均
同九時三五分 氣象概況 各地天氣概況 時報 仁川觀測所發表

名刺交換會

一日午後零時から三十分

恒例に依る京城名刺交換會は一月一日午後零時三十分から公會堂に於て擧行されるが參加申込者は三千四百十名で昨年より二百名の減少を見せてゐる

商店界 新年特別號 大附録付

帳簿無しの新會計法 中瀬勝太郎
新年の商略は此の手で 松宮 三郎
記念賣出し新選商略 大塚 政晨
新年に相應はしい商略 工藤 哲郎
カフエレストラン新戰術 山一 石
商略一手販賣所 編輯部

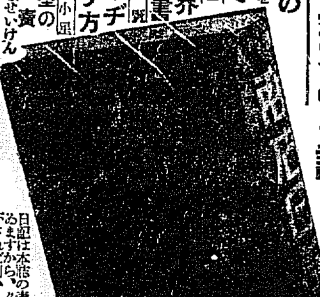
一九三二年新商賣の經營法 清水正己
顧客應待術あの手この手 佐々木良雄
してはならぬ店頭動作 渡邊 哲夫
商工會議所と商人 依田信太郎
人氣商店となるには 大塚小一郎
店務合理化の標語 宇原 義豐
放送廣告の實際 倉本 長治

應用自在の新商略集

一年間の會計豫算の作り方 長谷川敬治
借金を上手にする法 辻 [illegible]
一年間の廣告豫算の樹て方 森崎 晋一
店頭裝飾術入門（第一講） 宮入 保式
世界一周商店視察記 倉本 長治
必ず繁昌の蓄音機店經營 岩村 幸三
伯林商店街の正月賣出し 宇田川 宗治
金輸出禁止後の商業界 高橋 虎雄
安く見える販賣のコツ 吉川 [illegible]

商店巡廻座談會（大阪の卷） 西川 [illegible]

三十萬圓を儲けた話 青野 生
大商品をものした人々 三宅 淳
文房具賣ある記 野呂 仙吉
千二百の固定客を作るまで サトウ・ツタエ
百貨店界うはさ聞書 四元 晃
客寄せラヂオの作り方 山内 小黑
一九三二型の新商賣 原田せいけん



この別冊附錄『商店日記』がついて只の一圓です。日記は御覽の如く鰐革表紙五百頁の大冊です。これ丈でも一圓の價値あり。

この日記の實物見本は全國有力大書店に在りますから御一覽の上御求め願ひます

日記は本誌の表紙にクーポンがついてゐますから、クーポンを本社へ御送り下されば引かへにお送りします。

定價一圓 送料十二錢

東京・神田・錦町一ノ一 振替東京六五六八七
誠文堂

海外新興廣告美術集

革新せる編輯外觀共に雜誌界上に新形式を贈る

廣告界新年特大號

雜誌界空前の新製本スプリング綴り全頁アート豪華版海外廣告美術界展望大畫報として誇る
歐米ポスター……多田北鳥
廣告寫眞新形式……室田庫造
歐米陳列窓行脚……倉本長治
海外新店舖觀……上野正之助
商業美術作品集
原寫品作り方を初めて明かに十數點の作品を載せ新傾向の一年を解る
廣告寫眞作品集
ナ・ソンレイ、ヤモホリ等の作品とその研究寫眞の範例を示す
陳列窓裝飾寫眞集
商店、廣告の宣傳の生命たる陳列窓の模範寫眞數十點を網羅
商店建築外觀集
店舗の新式樣を示す變化に富んだ各種寫眞を集めた
廣告放送實況 倉本長治
一九三一年日本廣告界決算表
一九三一年海外廣告界決算表
海外廣告美術展望 室田庫造
廣告特種掛切・廣告萬華鏡
廣告人消息・廣告作品添削欄

別冊附錄 新年向の實用圖案集

定價壹圓 送料六錢

時代の標語たる經濟にも第一の優秀 ◎ミツワ石鹼

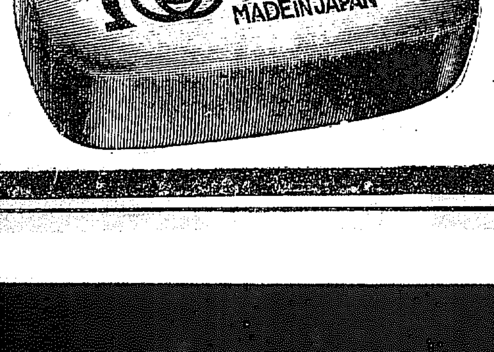
健かに麗しく

愈々寒く成りました毎日の洗料は作用が特別に緩和で洗ひ流せばさつぱりと落ちる
◎ミツワ石鹼をお使ひ下さい健かに麗しい肌膚は目前
併も最も徳用です

石鹼の純粹度といふ事と作用の強い緩和いといふ事とは全く別で、原料の配合と工程の如何に依つて、其間に著しい等差を生じます
ミツワ石鹼は純粹な上に特に其作用が緩和いのを特長とします。荒易い邦人の肌膚に缺かされぬ所以です

◎ミツワ石鹼
工藝の品質向上の爲めに、日夜科學的研究に從ひつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士 小幡 勲氏
藥學士 三井 [illegible]氏
農學士 河村 正一氏
工學士 中井 次郎氏
工學士 野[illegible] 大郎氏

顏面と肌膚と毛髮の ◎ミツワ石鹼



本舖 東京 ◎丸見屋商店

美味一滋養

蜂ブドー酒

一本で一等白金時計

葡萄酒界のレコード破り

空くじなしの大景品

粒撰りの逸品揃ひ

●空くじなし・洩なく景品贈呈

景品種目（二百萬口分）

一等 白金腕時計 一個 一千本
二等 金側腕時計 一個 二千本
又は ベスト寫眞機 一個／絞錦紗大巾兵兒帶 一筋／鋼鐵製手提金庫 一個／美術錦型半鉢 一個（一品の内）
三等 合金製莨セット 一個 三千本
又は 旅行用化粧具組合 一個／吸物椀（漆器）五客／純毛合シャツ（上下）一組／美術銅製花瓶 一個（一品の内）
四等 特上コーザン石鹸 半打 四千本
等外 正規の應募者全部へ 漫畫繪葉書 五枚一組 進呈

副賞 シャープペンシル

●御贈答品として二重の贈り物

方法

蜂ブドー酒の包紙のレッテル一枚を一口とし 二千口を一組とし 當籤番號各組共通 レッテルの裏面には左記條項御明記の上開封（二錢切手貼付）にして御投函下さい

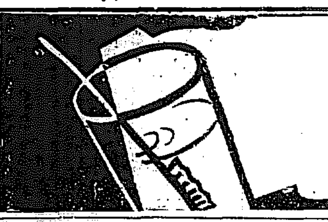
一、御買入店名及月日
二、この廣告を御覧になつた新聞名
三、アナタの御住所御氏名

規定

募集總數 二百萬口
締切 昭和七年三月十日
送り先 東京市日本橋區本町三丁目近藤利兵衛商店贈賞係
抽籤方法 一口毎に抽籤券一枚其上二千口を一組として抽籤 當籤番號各組共通
當籤發表 昭和七年四月五日前後全國有力新聞紙上
景品發送 發表後一ヶ月以内

東京 大阪 株式會社 近藤利兵衛商店

6—75



口腔咽喉諸病時の含嗽に
不時の負傷の應急手當に
齒牙の美白と保健に

オキシフル

粗悪類似品あり御注意を乞ふ
包裝 120瓦入 450瓦入 1000瓦入

東京・室町 三共株式會社 大阪・臺北・新京
三共の藥品

諸印彫刻 并ニ 附属品一切
京城府本町二丁目
千代田號
振替京城九八七番 電話本局九八七番

フアインゴム

甲品 ¥4.70 乙品 ¥3.40 普及品 ¥1.60
（足袋用・靴用の二種）
東京小賣特約店
京城府長谷川町
高野製作所
電話本局一一九一・一一二六

第三回化學工業博覽會最高名譽賞受領

一家には必ず一箇

齒を強く美しくする 品質第一 香味清快の

◎ミツワ煉齒磨

特に舶來品と比較御試用の上其眞價をお味ひ下さい

徳用大形（七十瓦入）一個金二十錢
携帶用中形チューブ入一個金十錢

臭氣く無く、苦味無く、味良く匂が快いから使用後すぐと玉露の茶を飲んでも、些しも其茶の微妙な香味に障りません。

◎ミツワ石鹸本舗 東京 丸見屋商店 I.38

書でも夜でも紫外線の豊富な日光浴の出來る

專賣特許

バイタライトランプ

健康増進疾病治療には紫外線浴を措いて他にありません 雨天曇天夜間にも自分の欲する時自由に日光浴が出來て新式電氣ストーブの代用ともなり一擧兩得であります

型録進呈

東京電氣株式會社 川崎市

清酒の精華

最高品

金山・馬山

カンボタン

原田吟釀

皮膚泌尿花柳病
醫學博士 渡邊晋
京城黄金町入口 日本生命ビル
診療 十二時半マデ及ビ夕刻

室内裝飾設備の完備した南鮮唯一の西洋料理店は好養軒であります
釜山府本町三丁目（電話二〇七番）
特に新鮮なる生魚を調理致します

好養軒

クスリハ山岸

卸と小賣＝通信販賣

每月營業月報發行

合資會社 山岸天佑堂
京城府本町一丁目

お正月用足袋は福助製品に限る

福助足袋
家庭足袋
萬歳足袋

チタニューム白粉は御園

化粧は創作

鼻筋へ、すうウと一本引いた白さそれだけでも明るさが冴えます。頰・額・顋・襟へとのびる美しさそれは一つの創作美です。殊に手間もかゝらず、苦心も要らずすなほなノビと平らなツキで此創作が、いかに容易に完成されるかを、ぜひお試し下さい、化粧美は只粉にあるのみです。

白色 肌色

D2

獰猛なる匪賊を追擊

正面衝突迫る

寒天に大元氣の皇軍

營口にて 北原特派員

田庄台、牛莊城方面にある馬賊所目當山及別働隊が錦州東北軍より滿鐵子から裝甲車にて多數の兵器彈藥を滿載し急援したのでそれに勢を得て此れ等の匪賊が田庄台より營口に、牛莊城に遊擊行動をとらんとの情報に接した記者は廿六日營口方面の情勢を視察すべく奉天を出發した、恰度其列車には天野旅團が

本部を營口に 移す

すべく幕僚より天野旅團長以下幕僚多數が乘込んだ、忽ち列車中で秘密軍事會議が開始せられる、匪賊が今牛莊城を襲ふた、新屯に出現したといふ情報がそれからそれと手にとる樣に瞬每に來る。兵隊が二人やられたといふ情報にはさすがに鬼將軍といはれる天野閣下も眼瞼の淚をこぼした、海城の大島砲兵聯隊長が來た、田庄臺方面の情報を知らせる、牛莊城で砲兵が二人やられたと謂る、部下を失ふた二將軍は茲で暫し暗涙にむせぶ、汽車は動く、天野旅團長は大島砲兵聯隊長にお先にと挨拶する砲兵聯隊も近く出動するらしい、各驛では日の丸持つた小國民が盛んに萬歲を連呼する、天野軍は第一線に立つ用意として毛皮のズボン、チヨツキ等を新調、頗るの元氣を示し副官の栗栖大尉も同じく防寒の用意をなして居る、お神符が各地より多數に送られて來るそれを各ポケツトに一杯におさめて居る、あまり數が多いので

何れの神符を

どうすると云ふ事も出來ず各軍隊でもそれを粗末にする譯に行かないから頗る閉口して居るらしい、營口に着いた、盛んな歡迎である直に旅團司令部に赴く、第○○聯隊は本日水源地に本部を移した、○○大隊は遼河が未だ結氷せないため結氷前で河北に渡り、田庄臺水源地との連絡をとり○○中隊に河北より通子溝方面に向つた一方又第○○聯隊機關銃隊及水源地にある野砲隊も之れに相呼應して攻擊行動を取つてゐる。約三千の對敵なる武器を有する正規軍らしい服裝したものが出現し、頑強に頑張して居る兵匪の數は益々增加しつゝあるとの情勢が來た、それかと思へば田庄臺の公安隊が我軍に好意をよせると見せかけて不意打ちを喰はし、我軍不利となり死傷者を出し桂大隊が之れを攻擊し武裝解除したといふので記者は直に軍用自動車にて水源地に向ふ、水源地は曾て永らく滯在した所であり

該方面の地勢

比較的詳しい丈けに田庄台に渉る遼河は結氷にして多數の軍隊の渡渉は頗る危險であり、殊に野砲の通過は一層危險である、ために匪賊は我軍の行動が全部それに阻止されて居る、隙に乘じて縱橫無盡に荒れ廻る田庄台の商務會内にある○○大隊本部は一昨夜公安隊の不意打ちに會つて包圍されたが、辛ふじて水源地よりの應援で漸くこれを退却せしめたといふ事などを聞き、附近一帶が日本軍に依り治安を維持されて居るが未だ危險狀態から脫せず四面敵を以て包圍されてゐる、便衣隊の横行は漸々として各所に我軍兵を狙擊する、現在田庄臺を中心に牛莊城附近には營山、孫鎮山の匪賊四千五百と別働隊の五千とがあり、之れに大窪盤山方面に約一ヶ旅一萬の正規兵があつて絕えず裝甲車十臺と衝突せんか此等の正規兵は忽ち期せず砲火を交ゆべく挑戰態度に出でつゝある、滿鐵子よりは日々兵數が增加されて居る

遼河は依然として

結氷せず我軍のためには大なる打擊であつた田庄臺西方小莊子方面に約二千の匪賊が現はれ、桂大隊本部、先頭部隊はこれと交戰して敵を悩る樣な小銃や機關銃の音が聞ゐる、電灯もない火を消した眞暗な田庄臺の市街は何れも表戶を堅く閉めて居る、何となく不穩に充ちた夜であつた、銃聲は各所で起つてゐる。便衣隊の潛入に我軍は之れが搜査に苦心をしてゐた、深夜一日靜まり返つた處に軍方の新屯には夜陰に乘じ匪賊は不意に逆襲して來たらしい元來滿洲の馬賊の襲來は皆の日から或は拂曉と限られて居るが近頃の馬賊は間斷なく襲擊して來る、それだけ彼等の素質が正規兵化してゐる證據である、救國義勇軍、公安局分隊長の訓戒金が總指揮となつて此等の匪賊を操縱する、頗る頑強である、我軍が此等の匪賊を討伐するに尤も苦心するのは何れも便衣服であるために良民と區別がつかぬ事である、又彼等の多くが夜陰に乘じ襲擊するため暗黑たる雪の中に敵味方の區別が判明せぬので我軍では今後全軍に

防寒服の上に

白衣を一齊に着せると云ふ事になたつたらしい、廿八日の拂曉漸く我工兵隊に依つて水源池と田庄台間は假橋梁が出來上り、水源池より砲兵隊全部が田庄台に到着した、これに依り我軍の行動も幾分迅速に進み一方牛莊城方面よりの攻擊も順調に進む譯であるが何分遼中鐵安方面にある別働隊は打虎山方面よりの援軍を加へ今や其數四萬以上に達して居る丈けに、我軍としても容易にこれを一氣に攻擊する事が出來ない狀態にある、此等の匪賊を剿滅するには少くも二、三日を要すべく正規軍と

我軍との衝突

は刻一刻と接近し戰機漸く熟せんとして居る、我軍は目下匪賊を追ふて遼中盤安から打通線滿溝子に進行動を取つて居る、記者は零下二十五度の地域にある此等將卒の身を思ひながら一旦田庄臺より引返して更に第二の總攻擊までに間に合ふやう廿八日營口に歸つた

遭難同胞慰問金

◇朝鮮社會事業協會取扱

[illegible]

本社主催 第八回 **冬期體育講習會**

△一月三日より七日まで五日間

△會場 本社來青閣

△講習內容

一、學校體育の理論と實際

二、社會體育の理論と實際

△會費 貳圓

△會費を添へて本社事業部宛三十一日までに申込まれたし

後援 朝鮮教育會

菊池寛先生畢生の大力作!!

良人ある人々

處女よ御覽あれ

[illegible]

人妻よ御覽あれ

[illegible]

この小說中には、眞の夫婦間の道、惱み、悲しみ、愛慾、受難が、ハツキリと描かれ、知らず〳〵敎へられます。

母親よ御覽あれ

[illegible]

男子よ御覽あれ

[illegible]

見よ！ この面白さこの魅力!!

[illegible]

昭和七年度最初の大傑作！

[illegible] 評判です！ 六大附錄つきの婦人倶樂部新年號。定價 八十錢。

婦人倶樂部新年号に掲載

月やく

差込と 内服薬の 安全責任薬

大切なるお金を投ずる其前に先づ良薬の選定

[illegible]

リウマチ せんき 神經痛 無料

如何なる重症にも必ず効く

强力漢方合理療法

[illegible]

奈良市小西町山 良成院

盤算ぬらいの九九

二二が四が不要になった

二一天作五

九九を用ひず敏速で正確

[illegible]

定價 三圓五十錢 [illegible]

發賣元 國華商會

りん病、しようかち、こしけ

惱む方々に切に御勸め致します

[illegible]

奈良縣生駒郡生駒町本町二〇 玉松園主

肺病に惱める方々へ

[illegible]

自然療養社へ御申込下さい。說明書進呈いたします

福音！

淋しき子のない奧樣に

[illegible]

淺井きみ枝

特許 漬物石揚機

二十貫の石が二本の指でかるく揚る、小供にてタヤスク使へ、食事の度に揚られる、始から終まで味が變らぬ

見本として一圓五十錢 返賃いらぬ

野間漬物石揚機製作所

神經衰弱 漢方療法

[illegible]

奈良縣生駒町 大觀洞

內科一般 特ニ 呼吸器、心臟、消化器、神經

佐藤內科

院長 醫學博士 佐藤小五郎

京城本町二丁目(電話本局五〇七)

溫い贈物 慰問袋に

ミカサカイロ

外出に家庭に事務に旅行に

風邪の豫防ともなり

溫灸治療器ともなる

優・美・輕・便 (コンパクト形)

炭は銀色手につかず

保溫長時、立消へせぬ

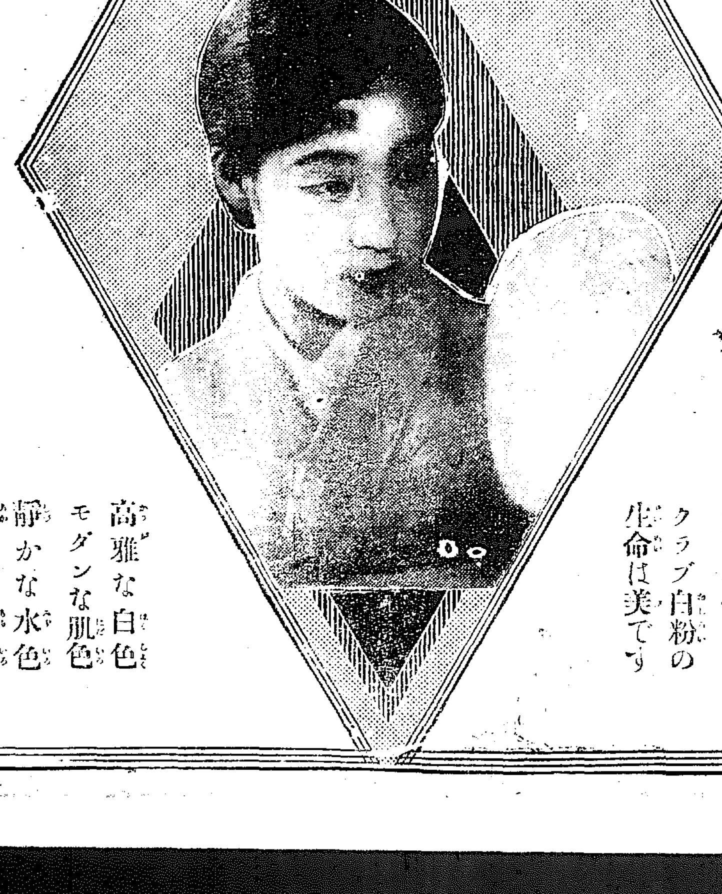
(デパート、藥店、雜貨店にあり)

東京市日本橋區岩附町 株式會社 鳥居商店

Mikasa

二酸化チタニューム配合

クラブ白粉



女性にとって美は生命です

クラブ白粉の生命は美です

高雅な白色

モダンな肌色

靜かな水色

明るい桃色

分子の細かいこな白粉

お肌によく落つき

お化粧上りに少しも無理がありませんから生地其まゝの色白に見えます

チタニューム白粉は御園

芳香の高いこな白粉

お手にしたゞけで匂やかな優雅さ、況して御使ひの時どんなにか御心を慰めることでせう！

チタニューム白粉は御園

白さが明るいこな白粉

御園チタニューム白粉獨特の冴えた明るさは、自然にお化粧がいきいきとして引立ちます

肌色 廿五錢

白色 廿五錢

E.10

[illegible]兇狀【89】

行友李風

瀧井耕遠畫

玉の緒橋（八）

『考へて見れやアあの怖ねえ話だつて、昔なねえ物の所爲に違えねえだからのう』

『ねえ物ッて何だい？』

『狸の劫經たんだッていふでねえか？』

『何とも解らねえ、魔性だでの』

『へー、この邊の山にも居るのかね』

『俺が友達ア丹澤山の奧の坂でもつて出ッ遇したゞよ、矢張り獵人で宵から月の佳い夜だッた鹿を擔いで坂へ掛るとお前、ツイ眼の先に若え婦女の生首が轉がつて居てよ、傍へ寄て往くとその生首が、轉りコロコロ轉がり廻つては友達の顔を見てゲラゲラ笑ひ出すでねえか、余り怖ねえから鐵砲を夢中で取直して强藥の二ッ彈丸ア打放すてえと、忽ち消ねてなくなつてしまつたッけが、後で氣が注くとねえ物の悪戯だつた、ナア、俺が見たなアそれほど不思議な、怖ねえ物ちやアなかつたがの？』

と覺悟をして、さて繰り出す。

獵人寂作が、山の不思議の話といふのは。

『何しろ冬山は、獵師が目的だから——』

それで今度は——寂作この狩見世の竈の前に圓くなつて寢てゐる何犬の中でも勝れて强く、賢こい熊と呼ぶ一頭を撰んで豫めて宅を出ました。

そして一昨日の夕方近く、足柄峠から峰を傳ふて矢倉岳へ拔け、谷の底から吹き上げる狹霧の中を一旦矢倉澤まで下つて來て、持重りのする獲物を商人の手に渡して金に替へ、一休みしてユックリ夕飯を拵てゐる内に、日はトップリと暮れてしまつて。霧は漸々に濃く深くなつた。

『チ、嫌な物が降て來やアがつたのう、今夜は山ア不猟だぞ、寂作？』

商人は寧そ一晩泊つて往けと勸めてくれたが、寂作は無理から犬を追立てて、最乘寺の奧山へ杉木立の路を登つていきました。

繩張といふ言葉は些と勇しいが、日頃極つた獵場の裡だけに、勝手は充分辨へてゐるから、霧の底でも夜道に迷ふ氣遣ひはなく、ズンズン登つて坊主池、與兵衛の池を過ぎる頃から、シトシト霧雨が降つて來た。

眞暗な中へ犬を放して、火繩を便りに八方へ驅け回る、冬の夜山の殺生稼ぎは樂でなかつた。ヤッと奧の杉の、天狗の小屋へ辿り着き、焚火をして濕つた身體を暖め犬と一緒に夜食を濟ませて、いよいよ歸り路。

杉の梢では木兎や、梟が頻りに啼いてゐる、が獵師はそれを惡鳥と極めて、一切捕らうとはしなかつた。

茲で大迂廻をして、逆に足の辻へ拔け、火隆山を越して坦へ下り明神岳の尾根へ掛つたのが彼これ曉六ツ——山は夜明けが早いから平素ならもうハッキリと人顔の見える時分、それが濁つた霧の渦で一寸の先も辨らない闇の底。

獵をするどころではありません而もこの邊、一方はまばらな雜木林、路の兩側は丈にも餘る芒が原で、一方はなだらな丘になれ、熊笹の茂みに混つて咲き殘れた龍膽の花が點々と、盤石を蒔いたやうに白く浮き出てゐる。

寂作の翳す火繩の影がまたしても、赤い大きな輪を描いて、火の粉の雨と亂れ散る足許に、熊犬は始終、鼻を鳴らして附き從ふ。

やがて、雜木の下陰へ掛ると急に暗くなつた、枝葉が繁つて空を掩ふてゐる加減か。

と、不意に一聲。

『うーわん、わん、うーわん！』

啼くのではない吼えるので、曳かれた綱の延びる限り、前へ驅け出さんと猛り立つ。

『オヤ？』

茲は獸類の通路でないことは寂作にもチャンと解つてゐるが、それと同時に犬の氣勢が何物かの敵に然つて鬪爭を挑む動作といふことも直ぐに解りました。

人間の眼には見えないが、犬の鼻端には何かの臭ひがするらしい

『叱、叱、待てよ？』

低聲で叱りつけ、ソッと索綱の結び目を解いて放つと矢のやうに、谿谷もぐつて驅出したが、それ限り一切吼えなくなつた。

『ソコは俺ア獵師だて、此犬の素振や喧嘩の工合で、大抵見當ア附くんだが、あの時ばかりやア矛然理由が解らねえ』

油斷なく鐵砲を把り直して半丁一丁、明神岳へ近くなつたが、啼聲は愚か、梨の礫で引返しても來ない。

さては獲物を取逃したのか？。

新刊紹介

新年號

●めがね（新年號）七十五錢、東京丸ノ内三ノ一二その社

●文藝汎論（一月）城左門、岩佐東一郎、登山修三、竹中郁その他の諸家執筆【十五錢】東京大井町庚塚四九二八その社

●セルパン（新年特別號）ラヂオ亡國論（土田杏村）英米探偵小說案內（大田黑元雄）冬のスポーツ（冠松次郎ほか七家）その他松岡讓・稻垣足穗の小說など新人數十家執筆（特價二十錢）東京麴町一番町五第一書房

●祖國（新年號）國民的日論主義（土田杏村）國家統治と王道（大石隆基）支那時局の展開と我が對策（長野朗）滿洲だより（北玲吉）民族ローマンス（七篇）創作櫻井忠溫『順氣王府の夕暮』中村吉藏『山田長政』その他（五十錢）東京千駄ヶ谷五六二[illegible]社

●女人藝術（新年號）從妹への手紙（中條百合子）母として目覺めねばならぬ時[illegible]座談會（十五家）上は生む[illegible]、小林多喜二、今井邦子、平林たい子、太田洋子、後藤かつ子）長篇東モス第二工場（中本たか子）海外に放浪する天才女（安藤雅[illegible]）子供の頁（グラフ入）その他（特價四十五錢）牛込左內町三一その社

●文學時代（新年）新春隨筆（加藤武雄、牧逸馬、櫻井忠溫）滿洲事變と新聞戰（原田讓二）世界若し黑河に相關はゞ？（平田晉策）ユーモア（中村正常ほか八家）探偵・モダン五人女（岡田、橋荷）人物・珍人物を語る座談會（六家）大衆小說二篇（柳風、胡堂）創作五篇（岩藤雪夫、福田清人、淺田[illegible]、中河與一、藤澤桓夫）その他（四十錢）東京牛込矢來町新潮社

●現代（新年特大號）時論時評には永井柳太郎、加山一郎、小林一郎、下村海南、町田梓樓、清澤洌ほか數家執筆、日本文藝の現在と將來（中村武羅夫）世界に輝く二巨人（古屋政恩、富田常雄）明日の總理大臣（伊藤金次郎）世界文壇の五人男（千葉龜雄）國際舞台の劇的大場面[illegible]次の世界大戰を觀る（長岡外史）その他數十項[illegible]（特價八十錢）東京本鄉駒込坂下町大日本雄辯會講談社

●婦人雜誌（新年特大號）假想戰記日英開戰（南方八郎）[illegible]東京市大疑獄（多摩一郎）エロ・グロ百科大辭典、其他、江戸川亂步、土師清二、[illegible]、佐々木邦ほか數十家執筆（特價五十錢）東京小石川表町一〇九非凡閣

●婦人俱樂部（新年號）滿洲事變從軍日記（櫻井忠溫）各界人花形座談會、『一太郎やあい』の母子を圍む座談會、新年お笑ひ漫談會、美容特輯、冬の小品座、產婦人科醫の注意、その他數十項の記事と繪、グラフを併め、特輯傑作讀物は五篇、正木不如丘、大佛次郎、小島長三、小川未明、石濱金作の力作のほかに、小說には良人ある人々（菊池寬）不滅の像（加藤武雄）いざよひ姑（子母澤寬）[illegible]（中村武羅夫）子（鶴見祐輔）美しき[illegible]（福田正夫）傳記讀物先生傳（澤田謙）などで附錄は六種、顏面用美人畫『君の夜の[illegible]』を始めとして他は悉く別冊として婦人知らねば恥大辭典、家庭向冬のお料理、毛糸編物各種小物などを添ふ（特價八十錢）東京本鄉駒込坂下町大日本雄辯會講談社

●學校美術（一月）三十錢、東京日暮里元金杉一九六〇[illegible]

●旅行案內（一月）[illegible]溫泉[illegible]（松崎天民ほか四家）その他（四十錢）東京神田[illegible]日本旅行協會

●人の聲（一月）[illegible]主宰誌。

●水島（一月）和田[illegible]主宰俳誌（三十五錢）神戶須磨區若宮町和田別邸內水島發行

●プロレタリア文學（一月創刊）ヘリコフ會議と『文戰』（片山潛）その他（特價三十五錢）東京上落合四六〇日本プロレタリア作家同盟

●婦人と生活（一月號）私の身の上話（武藤山治）政治經濟の時局展望（澤田謙、山崎靖純、小野賢一郎[illegible]）[illegible]

●若草（新年號）普通號より四十頁を增してゐる新年號は、それだけに豐富な讀物を揃へてゐる。[illegible]

●共榮（新年號）ポケット型から菊判への大躍進ぶり、月並まじいものがある。長谷川伸『金山小町』直木三十五『或る敵討たれ』福田正夫『綠の扉』等々一周年記念號と銘打つただけあつて、四六判の『映畫スター大寫眞集』なる別冊附錄がつき、これを見れば、スターの素顔、寫眞、略歷まで[illegible]

その他

●刀劍と歷史（十二月）五十錢、東京澁谷町若木一羽澤文庫

●こゝろ（十二月）求道の精神へ一〇八精神社

●朝鮮の畜產（六號）五十錢、京城光化門ビル朝鮮畜產協會

●大日（二一二號）滿洲事變批判の基準（建部遯吾）國際聯盟の干涉政策を排擊す（副島道正）[illegible]

●政治經濟公論（正月）[illegible]

●朝鮮武道（十二月）二十錢、京城水標町二二その社

●月刊撫順（十二月）二十二錢、撫順七條通り[illegible]その社

●わしが國さ（四〇號）仙臺商工會議所內仙臺協會

●女の世界（二二五號）二十錢、東京麴町飯田町四の三）至誠會

●星旗（十二月）三十錢、東京本鄉弓町一ノ一六その社

●滿洲評論（一ノ二九號）三十錢、大阪本町內本町橋詰町大阪府立貿易館

●自働道話（二一二號）西川光二郎主宰（十二錢）東京松濤町阿佐ヶ谷六八その社

●寶島之友（十二月）二十五錢、寶島市[illegible]町五四その社

●藝能（十二月）十錢、京城南山町三ノ二三南山本願寺

●朝鮮地方行政（十二月）五十錢京城太平通二ノ四帝國地方行政學會朝鮮本部

●碧瑠璃世界（三八號）非賣京都上京區[illegible]町一七その社

●九州（十二月）福岡市中島町九州日報社

●新興佛敎（十二月）一九三一年を送る（妹尾義郎）翔渡的危機と佛敎無產化（吉田理）マルクスと親鸞（木村泰賢）その他（廿錢）東京高田町雜司ヶ谷鶴巢六〇佛旗社

●偉人（一號）クレマンソー（十錢）東京本鄉上富士前町五日本社

●勞農（十二月）本田貢三、北村大助、矢作岩夫、向坂逸郎、山川均、中島詩穂（三十錢）東京小石川八千代町三その社

●朝鮮醸造業聯合會々報（六號）京城明治町二ノ八七朝鮮醸造業聯合會

●敎育（五八七號）東京小石川大塚窪町東京文理科大學內茗溪會

●プロレタリア詩（十二月）詩人——突擊隊員とその作品（東海政臥）その他（廿錢）東京下落合五八プロレタリア詩人會

●新論（十二月）日本民族の宣言（藤井眞澄）その他（十五錢）

●ゴルファー（十二月）五十錢、京城黃金町一二その社

●朝鮮貿易月表（十月）朝鮮總督府

●朝鮮貿易月報（十二月）[illegible]

●東京[illegible]（十二月）[illegible]

●ばんだね（二號）五錢、名古屋町永田町日本襟院

●東京富士見町三の七その社

●中央佛敎（十二月）昭和六年佛敎界囘顧（三十五錢）東京牛込矢來町九七その社

●京城法政新聞（十二月二日）一九號、京城漢江通一五その社

●調査月報（十二月）三十錢、朝鮮總督府

●陸上競技（一月）この冬を如何に過ごすか（八家）その他（二十五錢）東京神田區保町一六、一成社

●法學（一月創刊）東北帝大法學部研究の學術雜誌[illegible]

●改造（新年號）我が國資本主義の[illegible]（十錢）

●共存（十二月）二十五錢、東京[illegible]

●ローマ字世界（十二月）二十錢東京本鄉駒込東片町一二四日本のローマ字社

●金剛（十二月）十錢、京城大和町三ノ二六曹洞宗別院

●朝鮮敎育新聞（十二月）三十錢、京城南大門通[illegible]

●東京工業會誌（十二月）[illegible]

●敎育女性（十二月）十五錢、東京神田一ッ橋通町三〇帝國敎育會

●造形美術（十二月）[illegible]

●警察時論（十二月）[illegible]

●朝鮮敎育新聞（十二月）三十錢

●露西亞時報（十二月）五十錢哈爾賓

●愛國（新年號）[illegible]

●財界往來（十二月）一年五圓、京城[illegible]

●自動車界（十二月）二十五錢、東京[illegible]

●京城商工會議所月報（十二月）[illegible]

●朝鮮之水產（九二號）二十錢、京城[illegible]朝鮮水產會

●時代[illegible]

●滿洲評論（一ノ六號）滿洲經濟の分析について（矢田利雄）滿洲の國家的展望（小山貞知）九國條約の我觀（與謝英夫）その他（十錢）

●朝鮮鐵道協會（十二月）二十錢

●上海週報（十一月特輯）未會有の排日と日支貿易及び上海財界の影響（特價八十錢）上海北四川路永安里一〇八六その社

●女性時代（十二月）山根愛子主宰誌（二十錢）東京牛込原町三ノ一二その社

●鮮滿開拓（十二月）上松光久主幸（五十錢）京城本町二ノ六四鮮滿評論社

●南柯（十二月）四十錢、東京芝二本松町一ノ七南柯吟社

●麗澤（十二月）三十錢、東京小石川大塚坂下町四一麗澤會本部

●朝鮮（十二月）三十錢、朝鮮總督府

●朝鮮消防（十二月）十五錢、朝鮮總督府警務局內朝鮮消防協會

●愛國（新年號）鮮滿[illegible]（福田正夫）詩壇の新人に望む（[illegible]）時代に對する注文（井上康文）現實を飛躍せしめよ（[illegible]）その他（四十錢）東京小石川江戶川町一八交詩社

●朝鮮土木建築協會々報（二一六七號）卅錢、京城旭町一ノ六三朝鮮土木建築協會

●神道の友（一月）卅錢、東京目黑下目黑六ノ四四双人社

●朝鮮漁業新聞（二五九號）十五錢京城南米倉町二一〇その社

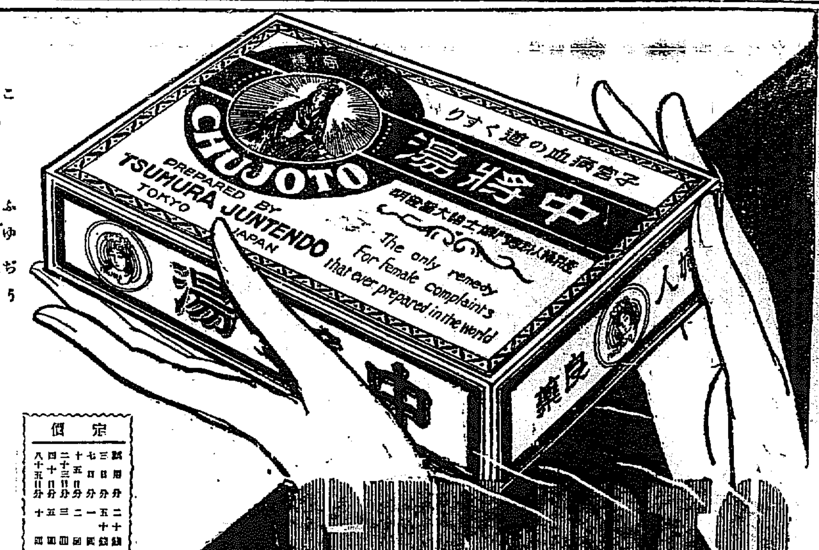
●東業と經濟（十二月）內[illegible]八十八主宰（四十錢）寶島市猿樂町五一その社

●土木評論（十二月）五十錢、京城西四軒町二ノ一その社

●匿球界（十二月）鮮滿遠征記（森文一郞其他（三十錢）比日谷市政會館內[illegible]その社

●金剛會パンフレット（七二號）上海日本商工會議所內金剛會

●職業紹介公報（九七號）東京麴町大手町中央職業紹介事務局



此の冬中は　これで充分です

寒　さに乘じて此れから猛威を振ふ婦人病の征服に……又男女にかゝはらず

感冒　に特效あり治療に理想的です。油斷は病勢を惡化します、病の輕い內に早く中將湯を……

定價	
試用分	二十錢
三日分	五十錢
七日分	一圓
十五日分	二圓
二十三日分	三圓
四十日分	五圓
八十五日分	十圓

婦人良藥　中將湯

中將湯は近世科學の尖端を行く最新式の方法によりて調劑せられたものにして、身體を溫めて冷込を防ぎ、血行を整へて新陳代謝を旺盛にし、月經不順、子宮障害、其他一切の婦人病に特效があり、その有效率は、例へば（3＋3）でなく（3×3）の相乘積にも等しき效果を齎らすものにして之は學界の認むる處であります

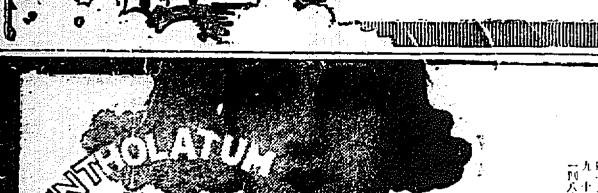
主效

子宮病　血の道
ヒステリー　産前産後
頭痛　月經不順
眩暈　不妊症
不眠症　帶下
下腹痛み　冷え性
血塊　こしけ
頭肩凝り　冷込
腰痛

本舖　津村順天堂

本店　東京市日本橋區通三丁目
支店　大阪市南區長堀橋筋一丁目

▲本舖には御容器により數種の中將湯加減藥があります。
加減藥定價十一日分一圓



メンソレータム

世界の美肌ぐすり

麗人麗手
お顔と
お肌と
お手先の
輝きは
このあれ止
クリームの
祕訣から

價
二十五錢
四十五錢
九十錢
一圓八十錢

時節柄にも拘はらず本年は非常な賣行であありましたので御愛用を感謝します

生れつき色が白い樣な美しさに附く新式白粉

肌色美顔水

▲色の白くない方にも—脂肪性の方にも—御年配の方にも性來色白と見える美しいお化粧が出來ます

高級美容成分を多量に含む科學的美粧料

[illegible]

冬と皮膚の養生（完）

瀬戸病院長 瀬戸ゝ潔

凍傷 最も輕いのは霜やけ又は霜やけと申します。霜の降るやうになつた時に出來るから霜やけ、霜をいぢくり出來る時は霜やけと申しますが、同じものです。前申しましたやうに、皮膚が寒さになれてをりませぬ冬の初めに多くあります。なほ靜脈の傍になりまして凝かつたり溜かつたりする時に又一時多くなります。霜をやる方や歩き廻る――旅行をなさる方はよく御存知の通り、氷が解けたりした時に凍傷にかゝります。これは皮膚を濕すためにも出來ますけれども半ば油斷もあります。勿論厳寒の時期にもあります。例へば衛生道の無理な行軍、登山競爭には輕いのや、一寸重いのは澤山見受けます。多くは全く無知にして無防禦の狀態で凍傷にかゝるやうに見受けます。その症狀として輕いのは暖かつた時に痒いだけです。例へば寢床に入り暖かつた時、お風呂に入つた時、濕突に暖を取んで居る時などに非常に痒い。見ると紅い斑點になつて居ります。も少し進むと朱色を呈した或は暗色を呈した結節即ち小さい指頭位の固いものが出來て痛痒い。時とすると足の先などに出來ると痛んで歩けないとお子さんなんかは申されますので泣くことがあります。これがも少し重くなるとやけどのやうに水ぶくが出來ます。こうなるとなか〳〵六ヶ敷くなりまして、所謂霜やけのくづれた狀態になります。すると痛みも重くなり治療もなか〳〵六ヶ敷くなります。これ以上重くなりますと兵地などでは見られませぬが指の二、三本は愚か手や足やを切斷しなければならぬこともなか〳〵に少くありません。この度の満洲事變にも少からざるこの種の病人がある事と聞きました。私が曾てこの度の事件のあるチチハルに居りました時に、或る兵隊さんが一寸した油斷で、夜間手袋をつけずに手を外に出して五分間位もいことをして凍傷になりましたが、その晩が殊に寒いので指四本凍傷のため切り落さねばならなくなつて、隊長を食はした隊長が青くなつて僕に謝みに來たことがあるのを思ひ出して居ます。凍傷もその手當がうまく行かぬと化膿して、いよ〳〵その害が甚だしくなりますから、水疱が出來たら素人療治は危險です。赤くなつた程度なら風呂に入り上つた時に沃度丁幾をつけるのが素人療治に最もよろしい新しい沃度丁幾にタンニン酸を澤山入れてつければ、朱色に腫れ上つて居る位のものでも一夜で全治します。

何よりも凍傷を起さぬやうに手足の運動をよくやること、戸外行軍などには手足を水に濡らさぬことが大事です。室外で冷え切つた手足や耳たぶなどは雪でこすると宜しい（又は氷でこする）それから手足等でよくこすると中等度に凍つて居ても凍傷を起さずゝみます。

荒性の皮膚

一般の私の皮膚は荒れ性だから冬ははほんとうに困りますと申される方は、種々體質上の缺陷のある方や病氣のある方です。昨日も申しましたやうに糖尿病のある方は例へば肺、心臓、腎臓、肝臓その他血管の病氣、十二指腸虫その他惡性の寄生虫、糖尿病、お酒の中毒等のある方は、寒くても荒れぬやうには六ヶ敷いですが、一般的に前申上げた注意をなさい其原因たる病氣の治療をし且つこれらの人は皮膚が乾燥してをりますから、皮膚の艶もありません。色も惡い所謂病身らしい、一般にその根本的治療が大切です。皮膚の養生としては石鹸を使はぬ事。クリーム類を使用する方がよろしい。石鹸やクリーム類と申しましても種々雜多なものがありますが、茲では詳細に申上げる暇間がありませぬから、一にはお自分で使用なさつて皮膚に合ふものがお申上げて置きます。大體化粧品は時々お換へになるのは危ない。自分に馴れたよい品なら何時までもお使ひになるがよろしい。尚又こんな方には肝油を飲むと皮膚がやはらかになり荒れも少くなります。要するに冬の皮膚の養生は

第一、全身の健康增進に注意すること、運動を怠らぬこと

第二、寒冷にさらした皮膚を直ちに熱湯に入れたりストーブに直ちにあたつたりしないこと

第三、濕したらよく濕氣を取ること

第四、皮膚を去らばこそ、石鹸の使用を注意し、クリーム類をつけること

これらを應用してお化粧なり又は皮膚の美觀なりを保つやうにせられたら、かなり荒れ性の人でもその苦を半減し得ると信じます。

紐育のカーニバル行列

光輝ニューヨークのカーニバルで催された行列にはおそろしくグロテスクな怪動物を引張つて大變な人氣でした

三曲界の將來

改良さるべき數々

今井慶松氏談

下

ところが現代の三曲界は誰が支配してゐるかといふに、箏曲に在つては生田流の宮崎君（東京）と關西の菊仲米秋君で、兩君とも生田流の箏曲家としては見事な腕前を持つて居られ、殊に宮崎君の三絃は天下一品である。同流が曲にもいつた樣に傳統的な濃い味を持つてゐて三曲界に美麗な色彩を添へて居るのであるから、吾々山田流のものとしても生田流を見らぬものとして後世に傳へるに重大な任務があると思つて居る。

尺八では琴古流と都山流が相對立して前者には荒木古童君と、川瀬順輔君、後者は中尾都山君が何れもよく之れを統べてゐる。琴古流は黒澤琴古以來尺八として古い流儀であるが、都山流は何しろ今の中尾君の創始にかゝるもので本年三十五周年記念をやつたばかりで至極新らしいものであるが、この短日月によくもあれまで仕上げたものであると中尾君の組織的才能に感服する次第で、邦樂界の爲めに誠に喜ばしい事であると同時に將來もかゝる人の多く出られる事を祈つてやまない。

◇ ◇

扨てこの他に勝れて頭角を現はしてゐるのが新日本音樂であらう。生田流出の宮城道雄君と琴古流出の吉田晴風君とが共に手を取つて新日本音樂に新らしい生命を植つけ洋樂の領域に喰ひ込んで居る。

こうして見ると一見いかにも統制がよくとれてゐるものゝ如く見られてゐるが、實際に於ては必ずしもさうでない事は甚だ遺憾とするところである。成程これ等名人の域に達した人は動かぬ土臺の上に置かれてゐるが、全體的に見ると憂慮すべき點が多い。一部少數を除いた三曲家は絶えず浮動して自己の去就に迷ひつゝある。三曲家が三曲の行詰りを叫んで悩んでゐるのは勿論洋樂の侵入に依るもので洋樂に對抗して苦しい立場に置かれてゐる事もいなめぬ事實であらう。

然しながら洋樂は邦樂を苦しめる爲めにのみの存在ともいへぬと思ふ。

◇ ◇

今若し今日の如き洋樂が日本になかつた場合を考へる時、誰が三曲今日の隆盛を豫言し得たであらうか。三曲が家庭の音樂から大衆樂に於ける民衆の音樂として盛んになつて來たのは洋樂の侵入がそうさせたのである事も一ッの重大な要素をしたと信じてゐる。勿論洋樂が何んなに三曲に刺戟を與へようが三曲界がこれに應へる氣力がなかつたら何うにもならないのであるが、當時の三曲家も時勢の動きを逸早く知り、目覺めて來たからでもある。その他洋樂と全然切り離した原因はいくらもあるが、その卑近の一例は右の如き次第である。

◇ ◇

そうして現在では再び行詰りの聲を各所に聞いてゐる。私はよくそう思ふのであるが、成る程或る一面では洋樂に對して行詰りつゝあるかも知れないが、洋樂と我が三曲とは全然立場を異にしてゐるのであるから、いひ換へるならば聽衆は洋樂と三曲とを全然色別けして三曲の味の好きな人と洋樂を好む人とが別れてゐるだけであつて邦樂が洋樂に蠶食されるなぞといふ事はさのみ恐れる事ではないと信じてゐる。洋樂の中でもソナタものを好きな人もあるだらうし狂想曲の樣なのを喜ぶもの、今はやりのジャズの如きを好む人もあるだらうから、三曲は三曲として獨自の立場を明らかにして進んで行けばよいのである。

◇ ◇

最近しきりに和洋合奏が流行してゐる樣であるが、これは最も愚かな事であつて、洋樂も殺してしまへば、和樂の美も勿論消へ失せてしまふ。然しこれゝ全然良くないといふのではないが、作曲そのものを和洋合奏曲として作れば兩方の長所が曲に現はれて美しいものが出來上るであらうが、この作曲はよほどのものでないと失敗に終る。而して私自身としては現在こゝに立派な三曲音樂があるのであるからことさらに洋樂と合奏する必要はどうもないと信じてゐる。

◇ ◇

只こゝに二三大きな缺點がある。これは是非とも近い將來に於て改正しなければならず又當然そうさるべきであらうと思ふ。

それは先づ第一に三曲が男の音樂でなければならないといふ事である。元來箏だの三絃だのといふと婦人のやる事か、或ひは盲人の仕事の樣に心得てゐるが、それは甚だ誤點に於てそう余儀なくされ、それが一つの傳説かの如くなつてしまつたのである。三曲といふものは決して女や盲人ばかりのものではないのである。現在の婦人の地位は非常に向上し相當の力も持してゐるが、それは或る程度までゝあつて未だ男の爲す事には追ひついて行けない。男が主になつてやつて行く事が何よりも先決問題である。それと、樂器の改造である。

◇

ピアノなどはペダルの作用によつて音を高くも出せれば低くも出せるが、箏は其のリズムが微妙であるだけにその配音は出來ないのである。この點に就て私案もないではないが諸氏の考察に期待したいと思ふ。

箏に幾分の改造を加へてピアノの樣に高低音を自由に出せる樣になつたら三曲界もそれ[illegible]方を得たも同然であらう。

かうした點に種々の改良を加へて行けば三曲音樂は決して日本にかけるだけの音樂でなくて世界的方にあるのではないか。然りとすれば之に從つて音の配合も明るく大きく全體の調子が朗やかでなければいけないと思ふ。此の點は作曲に俟つより外にない。

◇ ◇

最後に考へねばならぬ事は和洋樂界の一方に座る事もあへて手離た事ではないと深く確信してゐる（完）

讀んだものを話させること

注意せねばならぬ 兒童の濫讀の弊

近來の兒童は非常に讀書力が旺盛で、從つて兒童の讀物の數も隨分多くなつてゐるやうである。しかしそれだけに一面において濫讀の弊に陷り、特にウソ讀みをする兒童がかなり多いやうに見受けられる。即ち澤山の書物を速讀するところから感で讀むくせがつくそれはなか〳〵除かれないもので例へば試驗のやうな場合になると何んでもないところを讀み違へるといふやうな事が非常に多いのである。早く讀むといふ事はもとより必要であるが、しかしそれは正確といふ事を前提にしなければならぬ。どうしても多讀の兒童にはこの正確に讀むといふ事がやゝもすれば缺ける惧がある。そこでどんなに讀書慾が旺盛だからといつて無理に、そして無制限に書物を與へる事はよくない。書物は精讀させること、知識は淺く廣いよりも狹くとも深くといふ方針で導く事が大切である。この精讀させるといふ事であるが最もよい方法はその讀んだ書物を語らしむ事、聞いてやる事が一番有効のやうである。讀んだ事を語りたく人に傳へられるやうにするには余程よく讀まなければならないからである。讀ませてその書物の内容を語らせる場合にそれを主題とし、教材として教育するといふやうな方法でやれば之が最も理想的な勉強である

社會事業協會の 慰問金好成績

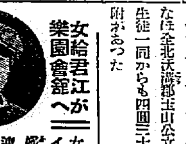
明春一月中旬在滿同胞 救濟に着手する

朝鮮社會事業協會が募集中の滿洲同胞慰問金は愈よこの卅一日を以て締切るとになつてゐるが、募集成績は京畿道を除いて何れも非常によく全北の如きは八千圓の豫定額に對して一萬二千圓を募集してゐる。京畿道は京城府内の各種團體が別々に募集中であるため豫定額に達するかどうかといふところであるが、全道の募集豫定額二十萬圓は優に突破すべく各道の送金も一月中旬までには到着する見込で總督府はまとまり次第奉天總領事その他在滿關係機關と協議の上直ちに救濟に着する筈である

おめでた

山口宏一郎氏長男山口健造氏（三五）は朝鮮商業銀行檢査役横山新氏夫妻の媒酌により實業家森伊四郎氏二女富子孃（二一）と婚約とゝのひ二十七日朝鮮神宮において結婚式を擧げた、新郎は京城高等商業出身の秀才で昭和三年卒業直ちに商銀に入行しテニス界の重鎭であり少壯銀行家として將來を囑望されてゐる。新婦は京城第二高女出身の才媛である

女給君江が樂園會館へ



女給のヒロインとして婦人公論に連載され世人から興味と同情を寄せられて人氣を博し[illegible]家一行と共に來城し京城樂園會館で特別出演し或はカフエーアルプスに特別サービスをした問題の女給君江が今回樂園會館の主人中野氏に懇望され三十日からホールに艶姿を現し直接サービスをすることゝなつた

お人形を賣つて慰問金を送る

全北金堤公立普通校生徒二年生一同は二十八日本社に手紙を寄せ、學校の餘暇に人形を作りこれを賣つて得た金十六圓十六錢を添へて零下三十度の北滿の曠野に奮闘する皇軍將士へ送つて貰ひたいと願ひ出た。その奇特な誠心に係員も深く感激して早速その手續をとつた

兵隊さんのお金は誠に些少では御座いますけれども私達二年生が方々に買つて頂いて溜めたもので御座います、御手數乍ら滿洲で嚴寒の中に祖國の爲めに御苦勞して居られる兵隊さんに送つて上げて下さいませ

なほ全北沃溝郡玉山公立普通學校生徒一同からも四圓三十九錢の寄附があつた

大橋主幹 表彰さる

赤十字、愛國婦人會朝鮮本部の大橋主幹は勤續滿二十五年以上に達し終始一貫功勞顯著であると、此程德川本社長より感狀銀側時計一個、本野本會長よりも感狀に銀時計一個を贈與し表彰した

東萊溫泉 活氣づく

湧出多量の見込つき

【釜山發】東萊邑では泉源試掘の目的のもとに既報の如く掘井中の處泉源意外にも湧出量が頗る多くこれに伴つて溫度も高く當初の豫定計劃の深度五〇〇尺に達した場合には一日の湧出量見込六千石をはるかに突破して一萬石を得ることも容易である確信がついたので從來湧出量の冬期減退と泉源の枯渇說に脅かされてゐた邑民は俄かに活氣が出て將來有望に於ける泉都東萊の發展もあながち空想とは斷定され得ぬ狀態で邑會及び溫泉經營者側では此豐富な溫泉を充分に活用して大東萊溫泉を育成する方法について寄々協議をすゝめてゐる、一方道當局でも東萊溫泉の面目を立てる爲め泉源試掘について少なからず斡旋をした關係上、溫泉地としての將來の發展が相當洋々の希望にみちて來たので東萊邑の溫泉施設については多大の注意を拂ひ地方開發の見地より相當援助する方針であるから朝鮮の問題溫泉として東萊溫泉が面目を一新するのも遠くないことであらう

えんげい

寶蝶一行來る

朝日座で開演

松竹の寶塚樂劇部の中島寶蝶一行が一月一日から朝日座で興行することゝなつたが三十日華々しい乘込みをなした後同日午前中本社を訪問した（寫眞は一行）

新春を迎ふ トーキーのこと

京城寶塚劇場支配人 南野生

現下の興行界を見ますと、世界的の深刻なる不景氣のために、演劇も映畫も音樂も舞踊もその他あらゆるものが、いづれも不振を極めて困ります。若しこの儘で行くならば興行界は恐るべき危機に立たなければならないのでありませう

この危機を脱出して新たに黄金時代を建設せんには、全くトーキーの進出であると思ひます。トーキーの勢力を期待してゐる譯であります。されば今昔のトーキーに就て一言述べたいと思ひます

活動寫眞の生みの父と言はれるマイブリッヂが蓄音機の發明者、エヂソン翁を訪れて斯う言つたのである『私のゾープラキスコープと貴下の蓄音機とを組み合せて、動物の自然的生活や人の生活等も取り入れて一つのものとすることは出來ないものでせうか』

所がその頃はエヂソンの蓄音機も、まだ完全なものではなかつたので、この話は、これつ切りで沙汰やみとなつてしまつたのであるが、映畫が唖者であると言ふことは、昔の映畫愛好者を大變苦しめて、どうにかしてこれに言葉を與らせて見ようと、色々の研究が完全しないうちに唖者のまゝで映畫はぐん〳〵と進歩して最早そんな言葉と音樂等が、それ程大切なものと思はれなくなつてそんな事は誰も彼も忘れてしまつた頃にひよつこりと古い昔の夢が再現されて來たのであるから何んと世の中と言ふものは皮肉に出來上つてゐるではないか

さあさうなつて來ると、面喰つたのは、映畫業者である

切角一生懸命に三十年の長い間、築いて來た地盤が、このため遠慮なく破壞されてしまひはしないかと一度は躊躇つて見たが金があつて目先のきくアメリカの映畫業者だけはばかり居ないで、この珍らしい發明を、大手をあげて歡迎すると、ぐん〳〵發聲映畫の製作にとりかゝつたものである、で忽ちのうちに、アメリカ中の映畫は、皆んな發聲映畫になつてしまつて今までの、無聲映畫を握つて居る所は、殆どなくなつてしまつた而もアメリカで作られる發聲映畫はドンドン海外に輸出されて世界の映畫界を掻き廻し初めたので各國共默つて居る譯には行かない默つて居れば終にアメリカ發聲映畫にすつかり地盤を喰ひ荒されてしまふので止むを得ず奮起して發聲映畫の製作と研究に當らなければならないことになつて來たのである日本の映畫界も遅蒔きながら發聲映畫製作の緒についたのである、この發聲映畫の

元祖 は本國のワーナーブラザースが據つたもので一九二六年の八月七日『ヴァイタホーン』と命名して紐育で公開したのがそれである

之は當時の紐育の觀客にとつて大きな驚異であつた。公開されたものは、オペラスタア獨唱、管絃樂の演奏とが極めて幼稚なものであつたがこれが如何に觀客の好奇心をそゝつたかと言ふことは、同社の株式が一夜にして暴騰したことに依つてもわかることである

このヴァイタホーンは、はじめ米國の有名なベル電話研究所ウエスタン、エレクトリック會社に依つて發達したデスク（圓盤）式錄音の再出で、ワーナーブラザースが、これに着眼する前に二三の映畫會社に、このシステムは提唱されたのだが、何處も對手にしなかつたのである

ワーナーブラザース通信

▲名監督ウイリアム・ウエルマンはワーナー社と新しく長期契約を結んだ

▲ジェームス・キヤグニーは最早暗黒街映畫には出演せざることを聲明した。『タキシード』に次ぐ作品は『群衆の叫喚』と決定した模樣である

▲エドワード・ロビンソン氏出演の『大當れサウサング』はアルフレッド・E・グリーン監督の下に撮影進捗し近日中に完成する見込み

▲ウイリアム・ポウエルのソーナー第二回作品『高跳』は既報の通りイヴリン・ブレント、イヴリン・ナップの名トリオである、さらに喜劇畑のジョーヂ・シドニー、ルシエン・リツルフイルドが配役に加へられた

▲ドロシー・マツケイルの『地獄の息吹』とマリリン・ミラーの『戀愛降下』が完成した

▲ケイ・フランシスの第一回作品『壁の上の影』の監督者にウイリヘルム・デイターが拔擢された

十萬円大懸賞

キング新年號破天荒の讀者奉仕!!（詳細はキング新年號にあり）（封入る大入袋附錄!!）

賞品 十六金側腕時計、オルガン、蓄音機、バイオリン、自轉車、寫眞機その他實に十萬點！ 賞品の種類は多く面白い大懸賞です。さあ御家族揃つて御投稿下さい。

富士ランプ エラアランプ

今評判の 春駒 東京鶴七品付

科學知識 新年特輯號

◇類人猿の話 ◇對歐無線の發達 ◇非醫者征伐 ◇保健と空氣と日光 ◇天然色寫眞 ◇トラクターの話 ◇滿蒙の資源 ◇我が絹絲問題 ◇化學界展望 ◇地震に安心な家 ◇登山索道の話 ◇新物理學界展望 ◇網獵の趣味 ◇常識電氣工學

定價七十錢 グラフ特別增頁

科學知識普及會

旅行中に付年始欠禮仕候 有馬純吉

喪中に付歳末年始欠禮仕候 竹森喜久馬

喪中に付年末年始の御禮缺禮仕り候 京城憲兵分隊長 釉岡靜太

喪中に付年末年始缺禮仕候 松島 清

喪中に付年末年始缺禮仕候 船島邦一商店

寫眞 新春奉仕 二割引 河原寫眞館

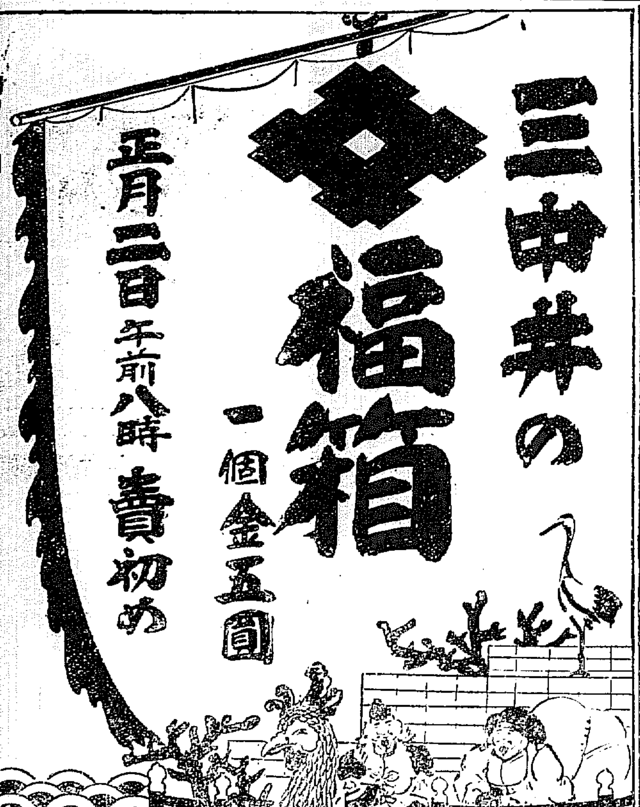
謹賀 滿員御禮

俄然滿都の人氣集中聊か謝意を表する爲め今明日洩れなくシャンペンカクテルを呈す

京城本町三丁目（演藝館横）

サロン春

大多忙に付き女給增員



登記公告

[illegible]

京城地方法院

[illegible]

法人登記公告

[illegible]

京城地方法院

商業登記公告

[illegible]

全州地方法院

法人登記公告

[illegible]

安城出張所

法人登記公告

[illegible]

黃州出張所

商業登記公告

[illegible]

全州地方法院

法人登記公告

[illegible]

扶安出張所

法人登記公告

[illegible]

益山出張所

法人登記公告

[illegible]

永柔出張所

商業登記公告

[illegible]

群山支廳

商業登記公告

[illegible]

全州地方法院

商業登記公告

[illegible]

汶山出張所

法人登記公告

[illegible]

遂安出張所

法人登記公告

[illegible]

順川出張所

法人登記公告

[illegible]

南原支廳

法人登記公告

[illegible]

价川出張所

法人登記公告

[illegible]

金川出張所

法人登記公告

[illegible]

湯德出張所

法人登記公告

[illegible]

江西出張所

若き日の華やかさ

クラブビシン

白色・肌色　正價　三十錢

31L14

萬

キッコーマン醤油
マンジョウ味淋

セイボ　ゴゾウトウニ

粉と水

時代色
いろく

オレンヂ色　桃色　肌色　クリーム色　ダーク色

水30セン
粉35セン

レート5色白粉

東京　平尾賛平商店

登録商標

たんせき ぜんそく

慢性急性一切のたんせきぜんそく

總ての痰咳は、必ず呼吸器に衝動を與へるものでありますから直に鎭靜の必要があるのであります。

痰咳 **喘息** 治療 テキメン

發熱ある場合は勿論の事、例へ無熱であつても、痰咳の衝動が永きに亙らば、肺炎、肋膜、結核症に變ずる處がありますから直ぐ治療をなさい。

感冒咳 治療と豫防

是からインフルエンザの流行期となりますが一咳毎に病状は進行すると云はるゝものです。龍角散の鎭咳作用は實に感冒防進の妙法です。

百日咳 愛兒の名醫

子供の百日ぜきは、愛兒の體質に一生の禍根を遺します。龍角散で直ぐ治療さるゝ事を希望します。

龍角散

絶對に副作用なく
效果は最も迅速く
香味は最も爽快

龍角散本舗前景縮圖

龍角散の適應容體書

（喀痰）／たんにて常にゴホンゴホン惱む人
（喘息）／ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
（氣咳）／きせ頬に出で夜中オチオチ眠兼る人
（流感）／流行感冒より起るたんせきの人
（肺病）／肺病にて常に力なきせき出づる人
（血痰）／たん臭氣を帶び時々血の交る人
（音聲）／音聲のかれ又は咽喉の痛む人
（小兒）／百日せき又ははしかせきの小兒

其の他如何ほど難症の呼吸器疾患のたんせきも凡そ二三週間續けて服用すれば其效果は速に顯はる。

定價
二日分 二十錢
四日分 三十錢
八日分 五十錢
十八日分 一圓
四十日分 二圓
六十五日分 三圓

東京市神田區豐島町
本舗 藤井得三郎
振替東京九一一番
電話浪花(四)〇八九〇・一五〇五番

▽全國各藥店にあり△

A7-7

世界に誇る
專賣特許の
クリーム歯磨

資生堂歯磨

資生堂歯磨(大)一個御買上げ毎に
資生堂せんたく石鹸一個(二月末日迄)

進呈

SHISEIDO TOOTH CREAM
資生堂歯磨
SHISEIDO GINZA TOKYO

演藝案内

朝日座　本町五丁目

來る一月元日より（三十一日御祝儀初め仕り候）

新喜劇 中島寶蝶 一座

第一 喜劇 當り年 二場
第二 悲劇 出世の猪名川 二場
第三 社會劇 腹違ひ 二場
第四 家庭劇 戀の花園 一場
第一 當り年 二場
第二 猪名川 二場
第三 腹違ひ 二場
第四 戀の花園 一場
第一 笑劇 謹賀新年 二場
第二 社會劇 曉雞聲 一場
第三 新悲劇 婚禮の夜 一場
第四 喜劇 世話好き 二場

東亞倶樂部

黎明に立つ若者

幕末大劍俠

島の大海戰

京龍館

劍戟の双龍

街頭の飛將軍

母子よ何處へ行く

朝鮮劇場

十二月二十九日より三日間

在滿同胞の爲めに

崔承喜女史の

舞踊公演會

喜樂館

興亡新選組

血染の伽羅

父

君戀し

京城演藝館

曾我廼家一行

一 氣狂病院 一場
二 若女房 二場
三 責任觀念 一場
四 積善の家 二場
イヽ氣持 一場
片羽鳥 二場
強情ト我慢 三場
大風呂敷 一場

京城日報

昭和六年十二月卅一日（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）

號外

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社　光化門局私書函四百番　振替京城二〇〇〇
編輯兼發行人　中野繁夫
印刷人　小川三之介

我社特派員の第一報

三十日奉天瀋陽館第二十師團司令部にて　佐藤特派員發電

聞くも語るも生々しい戰場感

わが朝鮮部隊を迎へ腹の底からの萬歳々々

【河野、佐藤兩特派員】あゝ問題の奉天！余らの從軍した羅南〇〇旅團司令部は三十一日午前零時廿分奉天驛に着した。こゝもまた萬歳の怒濤だ。市城に見るが如き大群衆の雑とうをそこに見ることは出來なかつたが僅か乍らその一人々々が腹の底から萬歳を叫んでゐる、これに答へる羅南兵士の歡呼、流石に奉天だ。語るも聞くも云ふも叫ぶも、その歡送者の一言一句にはいづれも現實の生々しい誰へがあつた、この萬歳へは鴨綠江を渡つての沿線沿道各驛に於てひしひしと感じたものであつたが、奉天は更にくその歡聲を深くするものがあつた。十才にもならぬ小學生の萬歳に六十老婆の肩いつぱいに打ちあげた萬歳の兩手に予（佐藤派特員は）『私を守つて下さい』といふ切實な訴へを感じた、殊に鳳凰城、高麗、五龍背の絶えまなき匪賊の脅威とそこの小驛を守る驛員、村人、義勇兵の苦しみを思ふとき彼等が我等を迎へる萬歳の叫びには到底涙なしには見られなかつた

◇

午前二時四十分余は自動車を驅つて沈默の奉天を一巡した。城内外ともに水を打つた様な靜寂、處々の辻々にピカッと光るものを見た、そばによつて見ると奉天を守る我軍歩哨の銃劍のきらめきである。これが零下廿度の寒夜に底きみのよき光りをたゝえてゐる。一番賑やかなのはなんと云つても奉天驛だ。午前二時だと云ふのに奉天驛は人でいつぱい。こゝばかりは街の沈默を破つて萬歳のどよめきが奉天市街の上空にワットなだれのやうに響いては消えてゆく。驛前の瀋陽旅館には軍第廿師團の司令部がある。厳めしい衛兵歩哨が銃劍を兩手につかんで突立つてゐる。時々辻で歩哨の颯爽な軍隊用語が聞える。歩哨の交代なのであらう。任務終つて二人連れで並んで歸つて來る歩哨と下士の姿が辻々で散見された。驛前のすぐ右横にはこれまた何んといふたくさんの支那馬車であらう。おびたゞしい馬がいづれも支那特有の細長く低い車をつけて集めてあつた。奉天城外からかり集めた運搬車なのだ。これに、二三人の支那服をまとふた支那人が兩手を相互に長袖にさし入れて胸に兩手をおき乍ら陶像のやうに無感覺に立つてゐる。あれでも立番の監視者なのだらうが、一體寒くはないのだらうか、予等は流石に支那人の呑氣さと寒さに對する無感覺な顔にいかにも大陸らしい云はゞ『これが奉天といふものか』と云つた感じをうけた。驛のホームには羅南旅團司令部の第四列車、第五列車、第六列車が兵士をかん詰の様にギッシリつめて休んでゐる。たつた今着いたのに監視兵をのぞいておき寝てゐる兵士は一人残らず高鼾だ。羅南から……五十時間ゆられくて來た兵士なのだ明日の戰ひに一夜を明かそうとするのか。それとも疲れからか。ぐつすり休んでゐる。

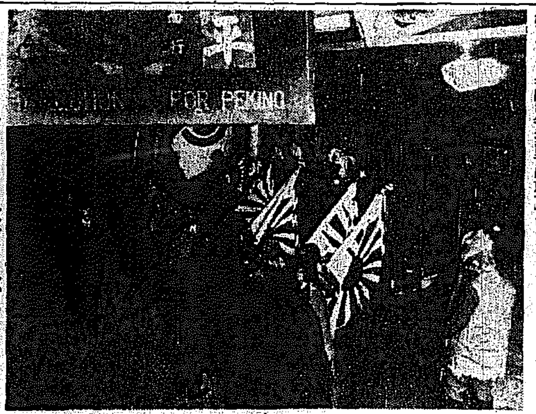
◇

奉天は眞夜中であるのか街は靜かだ。こゝが問題の奉天とはどうしても思はれなかつた。余りの意外さに迎へた本社奉天支局長北原氏に尋ねて見ると彼は『奉天は全く大丈夫です。こゝには容易に敵が入つてこれない』といふ余は安心した。全く奉天は思のほか靜かで戰亂の渦をよそにある感じを與へた

意氣軒昂奉天着

特派員乘車の第四列車

【三十日通遼驛にて佐藤特派員】三十日午後四時半五龍背に於て第三列車は匪賊の情報を得た第四列車の羅南〇〇旅團司令部は古賀中尉指揮の一隊を以て機關車に分乘先行偵察をなさしむるとともに各列車入口に下士の率ゆる一分隊をもつて監視せしめ沿線異狀なく午後十二時、意氣軒昂裡に奉天に着いた



歡迎する奉天市民

三十一日午前二時奉天驛に歡迎した奉天市民の波

元旦の佳日を期して

我軍の匪賊討伐を謳歌し

奉天城内で一大示威運動

支那側奉天市民有志

奉天省政府省長臧式毅氏、奉天市政公所々長趙欣伯氏をはじめ支那側奉天市民有志一同は一月元旦の佳日を期して我軍の匪賊討伐を謳歌すべく奉天城内外に於いて一大デモストレーションを決行することに決定した。この日行列は午前十時城内商埠地を出發、城内を一巡したのち附屬地へと進行、各所に於いて匪賊討伐の宣傳を爲し一日も早くこれが完成を期するやう討伐促進の効をあげることになつてゐる。

朝鮮部隊終結を終り遼西の大討伐

戰線四十里にわたる

卅日通遼堡にて　佐藤特派員

羅南〇〇旅團司令部は奉天に置くことに決定〇部隊は奉天より直に遼陽に向け出發、三十一日午前四時部隊全部の終結も終つた、かくして室〇〇師團の下に嘉村旅團と共同して遼陽を中心に左翼營口に多門〇〇師團、右翼新民府に森〇〇〇隊と連絡をとり戰線實に四十里に亘り遼西一帶の大討伐一齊行動を開始した

集る同情金一萬四千圓

龍山の軍衛は軍司令部をはじめとしてお正月も他所に歳末から引續き無休執務でひたすら軍務に精勵し『盡忠報國』の軍人精神を遺憾なく實踐躬行してゐるが中にも軍司令部の客廳店開きしたばかりの愛國部にはその開設以來毎日三十余件もの多數慰問關係の處理に忙殺されまた病院も毎日引つきりなしの見舞客、慰問品の授受などで眼を廻はし此處もまた愛國の熱意ほとばしり、涙ぐましい感激のうるわしい氣分で一ぱいであるしかして客臘二十五日まで軍司令部扱の出征軍隊傷病兵へ慰問ゝ金品及國防充實の獻金はすでに總額一萬四千余圓の巨額に上つてゐる、その内譯は次の通り

◇傷病將士慰問金　一〇五件金六五八圓一八錢
◇同慰問品一〇件一五品
◇滿洲派遣部隊恤兵金　五十五件金三二四七圓三七錢
◇同慰問品四件六品
派遣步兵三九旅團恤兵金　一一件金三八三圓〇三錢
◇同慰問品一五件
◇出征通過軍慰問金　一一件金三〇四二圓三三錢
◇國防獻金　四件金一一八二圓六三錢

そして、その間には幾多の美談と感激の涙のうるわしい逸話がかくされてゐる

本號外は本紙に再錄せず

裏面に續々く

寫眞說明

(上)卅一日午前二時奉天驛に着いた羅南旅團司令部幹部（第七六戸波聯隊長、佐藤工兵大隊長、野砲第三大隊長以下一同）(下)緊張せる室第二十師團司令部（室第二十師團長、森參謀長、中井高級副官、角和參謀の各幹部連）＝河野特派員撮影＝